

ABPs (ASUKABOOK® Photoshop tool)

バージョン 1.2.2.x マニュアル

初版 2011年11月28日

第9m版 2018年05月30日

ABPs とは?

アスカネットの写真集をご利用頂き、誠にありがとうございます。


ASUKABOOK® Photoshop Tool (以下、ABPs と略す) は Adobe Photoshop® を使って ASUKABOOK® のレイアウトを行う方に、より効率よく作業を進めて頂くための補助ツールです。

なお、弊社ホームページには ASUKABOOK® の種類、編集上のご注意、モニタ調整と色評価、などの情報が満載されています。ぜひ一度ご覧ください。  <https://asukabook.jp/>


◆このマニュアルについて

●本書は、ASUKABOOK® Photoshop tool において機能、および操作の解説をするものです。

●ABPs について、調べたい項目を「もくじ」から探し出してください。

本書を Adobe Reader® などの PDF ファイル閲覧ソフトでご覧頂く場合は、もくじページの項目番号、題目、ページ数の部分にマウスポインタを置くと  マークに変わります。クリックすると該当するページに直接ジャンプしますのでご活用ください。

●本書は、Adobe Reader® などの PDF ファイル閲覧ソフトでご覧の場合は、「○ページをご覧ください。」と書かれた文章をクリックすると、該当ページ、および該当するホームページにジャンプできます。

 マークが目印です。

●本書での説明において、実際の運用との間に相違点がある場合は、実際の運用方法を優先するものとします。

●本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載のない操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。

1. 本製品 (ASUKABOOK® Photoshop tool) の一部、または全部を無断で複製することを禁止します。
2. 本製品 (ASUKABOOK® Photoshop tool) の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
3. 本製品 (ASUKABOOK® Photoshop tool) は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
4. 運用した結果については、3. 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
5. ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、弊社はその責任を負わないものとします。
6. 本ソフトウェア (ASUKABOOK® Photoshop tool) の解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
7. アスカネット、ASUKABOOK®, ASUKABOOK® Photoshop tool、およびそのロゴは、株式会社アスカネットの登録商標です。
8. Adobe Photoshop®, Adobe Reader® は、アドビシステムズ株式会社の登録商標です。
9. Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。MacOS は Apple Inc. の登録商標です。

免責事項

本書に記載されている内容は、あくまで参照用として示すものです。また、記載内容は予告なく変更される場合があります。従って当該情報が株式会社アスカネットの責務として解釈されるわけではないことをご了承ください。株式会社アスカネットは、本マニュアルにおけるいかなる誤謬、また不正確な記述に対してもなんら責任、補償を負うものではありません。

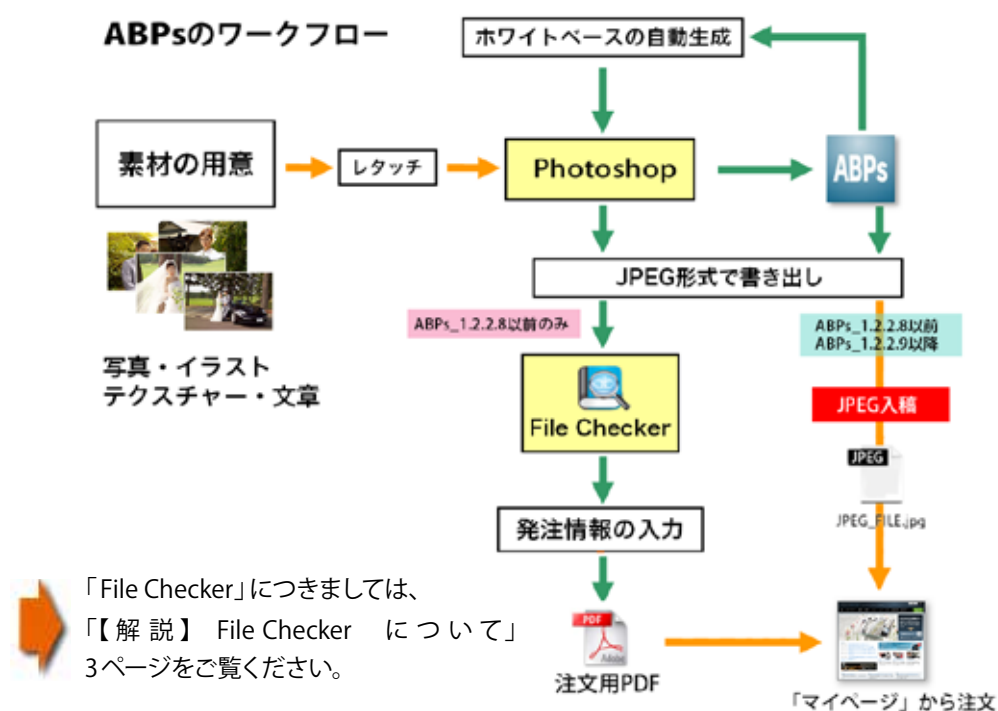
◆JPEG入稿への変更について

今までは、ABPsで作成されたデータは、PDF及びJPEG入稿に対応しておりましたが、バージョン(1.2.2.9)より、JPEG入稿のみの対応に変更させていただきました。

ABPs旧バージョンの場合は、PDFでの入稿も可能ですが、2016年以降の新製品には対応しておりませんのでご了承ください。

※今後の新製品は、「File Checker」に対応する予定はありませんので、JPEG入稿をお奨めいたします。

Adobe Photoshop® のABPsに備えられている「書き出し」から出力されるJPEGファイルを出し入稿します。ABPs旧バージョンの場合は、PDFでの入稿も可能(2016年以降の新製品に対応しておりません)ですが、ASUKABOOK®発注用の情報を含むことができません。そのためAdobe Photoshop®にて作成したデータから、弊社でご提供する「File Checker」を通すことでASUKABOOK®注文用PDFを作成します。



File Checkerの詳細については、「【解説】 File Checker について」3ページをご覧ください。

◆動作環境

Adobe Photoshop®を使ってASUKABOOK®注文用のJPEGファイルを制作するためには、下記のアプリケーションが対応し動作している環境が必要です。

- Adobe Photoshop® CC 2014、Adobe Bridge® CC
- Adobe Photoshop® CC 2015、Adobe Bridge® CC
- Adobe Photoshop® CC 2015.5、Adobe Bridge® CC
- Adobe Photoshop® CC 2017、Adobe Bridge® CC2017
- Adobe Photoshop® CC 2018、Adobe Bridge® CC2018

ご注意

FileCheckerを利用して従来通りPDF入稿を行う場合は、ABPs1.2.2.8以前をご利用ください。ただし、2016年6月以降にリリースされた新商品には、対応していませんのでご了承ください。

FileChecker対応商品はこちら：<https://asukabook.jp/edit/technique.html>

**解説**

ファイルチェッカー

File Checker について

「File Checker」とは、ホワイトベースを検査し、ASUKABOOK® 注文用のPDFデータを生成するソフトウェアです。尚、「File Checker」は開発を終了しておりますので、今後はJPEG入稿をお奨めいたします。

- ① 点検内容 ブックの種類、サイズ、ページ数、背表紙の厚み、解像度、埋込プロファイルです。
(レイアウトデザインまでは検査できませんのでご了承ください)
- ② ASUKABOOK®用の注文書を埋め込みます。
- ③ 「File Checker」は最新のものをご使用ください。
新商品に対応していないバージョンをお使いの場合はエラーとなりますので、ご注意ください。
- ④ 「File Checker」のダウンロード先は https://asukabook.jp/support_tool/download.html です。
※2016年以降の新商品には対応していませんのでご了承ください。2016年以降の商品は、最新のABPsを利用してJPEG入稿をご利用ください FileChecker対応商品はこちら：<https://asukabook.jp/edit/technique.html>

目次

ABPs とは?	1
免責事項	1
◆JPEG入稿への変更について	2
◆動作環境	2
【解説】 <small>ファイルチェッカー</small> File Checker について	3
目次	目次-1
1. ABPs の概要	1-1
1-1. ABPs の特徴	1-1
① Adobe Photoshop® CC2018 に対応	1-1
② 2018年5月30日発表の新製品に対応	1-1
③ ASUKABOOK注文用JPEGの自動生成	1-1
④ サイズ変換、ページ増減の他、過去に作成したブックファイルも利用可能	1-1
⑤ ページナビゲーション機能（バージョン1.2.0.0より）	1-1
2. ABPs のご利用にあたっての注意事項	2-1
2-1. 概要	2-1
2-2. 小さな文字・細いライン についてのご注意	2-1
2-3. その他	2-1
3. ABPs のインストール macOSの場合	3-1
3-1. macOSでのインストール	3-1
3-2. ダウンロードしたファイルの解凍	3-1
3-3. macOSでのインストール	3-2
① 「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを「Scripts」フォルダにコピーする方法(macOSの場合)	3-2
② 「ABPs」スクリプトを都度、読み込んで起動する方法(macOSの場合)	3-4
3-4. macOSでのアンインストール	3-6
4. ABPs のインストール Windowsの場合	4-1
4-1. Windowsでのインストール	4-1
4-2. ダウンロードしたファイルの解凍	4-1
4-3. Windowsでのインストール	4-2
4-4. Windowsでのアンインストール	4-7
5. 「ABPs」の起動	5-1
【解説】 ABPs情報のアップデート	5-1
【ご注意】 「3D機能」に関する警告について	5-2
6. ホワイトベース	6-1
6-1. ホワイトベースの作成	6-1
【解説】 新規作成の解像度単位の変更方法	6-2
6-1-1. ブック仕様の選択について	6-3

6-2. ホワイトベースの仕様について	6-4
【解説】 カラープロファイルについて	6-5
① 写真素材にはカラープロファイルを埋め込む	6-5
② ホワイトベースのカラープロファイルの選択について	6-5
③ CMYK画像は利用しない	6-5
7. 書き出し(注文用JPEGの作成)	7-1
手順-1 「書き出し」をクリック	7-1
手順-2 PSDフォルダを選択	7-1
手順-3 JPEG出力先の選択	7-2
手順-4 JPEGの書き出し	7-3
手順-5 フォルダが開きます。	7-3
8. ブック変換	8-5
8-1. ブック変換のルール	8-5
8-1-1. 事前の準備	8-5
① 変換先のブックファイルの用意	8-5
② ブック情報	8-5
③ 6桁のファイル名	8-5
④ 扱えるファイルは「psd形式」のみ	8-5
⑤ ブック変換処理の方法	8-6
⑥ 本文ページと表紙・ケースは個別に変換を	8-6
⑦ ブック変換の制限事項	8-6
⑧ 変換後にはレイアウト確認を	8-6
⑨ カラープロファイルについて	8-7
⑩ ページ数の増減について	8-7
⑪ 変換ができない組み合わせ	8-7
⑫ ブック変換の例外	8-7
8-2. ブック変換の基本操作	8-8
8-2-1. 変換先のホワイトベースの準備	8-8
8-2-2. 本文ページの変換	8-9
8-2-3. 表紙ページの変換	8-12
8-3. ブック変換/ページ数を増やす場合	8-16
8-4. ブック変換/ページ数を減らす場合	8-17
9. ツール	9-1
9-1. ブック情報を表示	9-1
◆ブック情報が登録されていない場合	9-2
9-2. ブック情報を登録	9-3
9-3. JPG-PSD変換	9-5
9-4. リネーム(4桁-6桁)	9-7

9-5. 環境設定	9-9
9-6. ログ	9-10
9-7. 初期状態に戻す	9-11
10. ページナビゲーション	10-1
10-1. ページナビゲーションを表示させる	10-1
10-2. ページの入れ替えによるファイル名の振り直し	10-3
10-3. ページの入れ替えができない例	10-6
10-4. Adobe Bridge®のエラーメッセージ	10-7
11. ご注文について	11-1
12. ご注文後の流れ・キャンセル・増刷	11-3
13. 編集上の注意	13-1
13-1. 塗り足しと裁ち落としについて	13-1
13-2. 塗り足し領域について	13-1
13-3. サイズ変換による表紙のデザイン確認について	13-2
13-4. 最新情報はホームページで確認	14-1
14. お問い合わせ	14-2
索引	索引-1

1. ABPsの概要

1-1. ABPsの特徴

「ABPs」はアドビスクリプトで動作するため、macOS、Windows共用のプログラムです。Adobe Photoshop®、および Adobe Bridge® が正常に動作する状態であれば「ABPs」も正常に動作します。

① Adobe Photoshop® CC2018 に対応

2017年10月にリリースされた Adobe Photoshop® CC 2018に対応しました。

② 2018年5月30日発表の新製品に対応

ABPsは、Adobe Photoshop® 上において、アスカネットがご提供するASUKABOOK®の全種類(インデックスブックを除く)のホワイトベースを生成することができます。この機能により、ホワイトベースを用意するためにASUKABOOK®のダウンロードサイトにアクセスする必要が無く、素早く、正確なホワイトベースを用意することができます。

バージョン1.2.2.15からは、2018年5月に発表したASUKABOOK®「ボードPetit」、「プラチナクロス七五三」、「Photolet」、「pasta」、「Leafブック」、「Leafカード」に対応しています。また、「ZENレイフラットART ACX」、「ボードACX」は、サイズの追加に対応しました。

③ ASUKABOOK 注文用JPEGの自動生成

ホワイトベースへのレイアウトが終わったら、「書き出し」ボタンを押してレイアウトを施したフォルダを選択してください。ASUKABOOK注文用JPEGファイルを生成することができます。PSD形式ファイルをJPEGに変換可能です。

※バージョン1.2.2.9からは、FileCheckerによるPDF入稿はできなくなりましたのでご了承ください。

④ サイズ変換、ページ増減の他、過去に作成したブックファイルも利用可能

「ブック変換」機能を使うとサイズの変換ができる他、ページ数の増減ができます。また、過去に作成したASUKABOOKのブックファイル(PSD形式のファイル)でも、他のシリーズに変換できます。

⑤ ページナビゲーション機能 (バージョン1.2.0.0より)

Adobe Bridge®を利用したページナビゲーション機能を装備。編集中の各ページを一覧でき、ファイルを開いたり、ページを入れ替えた際のページ番号(ファイル名)の振り直しが行えます。

2. ABPsのご利用にあたっての注意事項

2-1. 概要

「ABPs」は、アドビ社が提供するアドビスクリプトにて制作されています。

アドビスクリプトとは、一連の操作を実行するようアプリケーションに命令する一連のコマンド(命令)のことで、ほとんどのアドビ製アプリケーションにおいて、繰り返し作業の自動化や複雑な計算を行ったり、グラフィカルユーザーインターフェイスからでは利用できない機能を利用するなどの場合に、このスクリプトを使用しています。このため、macOS、WindowsなどのOSに関係なくアドビ製品を動作させることができます。また、このスクリプトの使用により、アプリケーション本体が損傷することがないことも特徴です。

2-2. 小さな文字・細いライン についてのご注意

Adobe Photoshop®は、ピクセルデータなどのラスターライズデータを扱うアプリケーションです。Adobe Photoshop®上で描かれた、および貼付された全てのオブジェクト(画像、フォント、ラインなど)はラスターライズされてPDFファイルに出力されます。このため、小さな文字や、細い線などは不鮮明になる傾向にあります。このことを踏まえた上でデザインを行って頂くようお願いいたします。

また、書き出されたPDFは、Acrobat Reader®で開いて(Acrobat Pro®はデータが書き換わる可能性がありますので使用しないでください)確認するようお願いいたします。詳細部分を確認する際は、Adobe Photoshop®の表示拡大率を100%以上にして確認してください。なお、ラスターライズ後の解像度は本文ページは271dpi (ASUKABOOK®標準解像度)、表紙は260dpi です。

2-3. その他

- 「ABPs」にて生成されるホワイトベースは、本文ページ(開始ページ、見開きページ、最終ページ)については仕上がりが寸法より「裁ち落とし」分だけ大きくなっています。



詳しくは、本書の「13-2. 塗り足し領域 について」13-1 ページをご覧ください。

3. ABPs のインストール macOS の場合

MacOSの場合

「ABPs」は、「ASUKABOOK.jp」のホームページの「サポートツール」の「ダウンロード」からダウンロードしてください。

ダウンロード：https://asukabook.jp/support_tool/download.html

この章では「ABPs」のダウンロードが完了しているものとして、インストールの解説を進めます。

3-1. macOSでのインストール

macOSコンピュータに「ABPs」をインストールする場合は、以下の作業を行ってください。

Windowsコンピュータに「ABPs」をインストールする場合は、この章を読み飛ばして「4. ABPs のインストール Windowsの場合」4-1ページからの作業を行ってください。

3-2. ダウンロードしたファイルの解凍

ダウンロードされたファイルは「Zip」(ジップ)という圧縮されたファイルになっていますので、そのままでは機能しません。「ABPs_set.zip」ファイルをダブルクリックすると自動で解凍し、「ABPs_set」というフォルダが出てきます。

ご注意

- 解凍後の「ABPs_set」フォルダは「デスクトップ上に保存することをお奨めいたします。
- インストール後に「ABPs_set」フォルダを別のフォルダやドライブに動かすと、「ABPs」が動作しなくなりますので、ご注意ください。もし移動した場合には、インストールをやり直してください。

解凍すると「ABPs_set」フォルダが現れます。

中には2つのファイルと、1つのフォルダが入っていることを確認してください。

① ABPs フォルダ

「ABPs」のプログラムが格納されているフォルダです。数字はバージョンを示します。

② win_install_v2.vbs

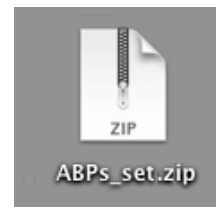
Windows専用のインストール補助プログラムです。macOSへのインストールでは使用しません。

③ ABPs_manual_9x.pdf

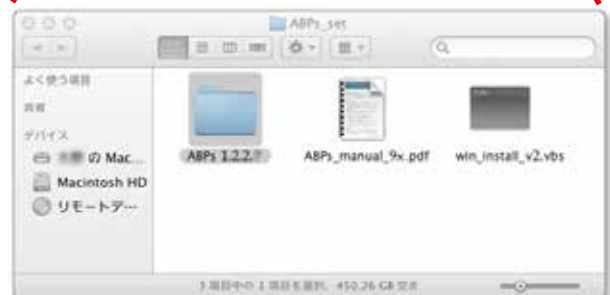
「ABPs」の取扱説明書(本書)です。

アドバイス!

- 「ABPs」は、macOS、Windows共用です。どちらのOSでも動作します。



ダウンロードした「ABPs_set.zip」ファイルを解凍すると「ABPs_set」フォルダが現れる。



3-3. macOSでのインストール

ダウンロードして解凍した「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを、Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダの中に①コピーもしくは、②読み込みます。

※ ①のコピーする方法を推奨いたします。②の方法は、「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを保持し都度同じ操作が必要となります。「x」は、実際にはバージョン番号(数字)となります。

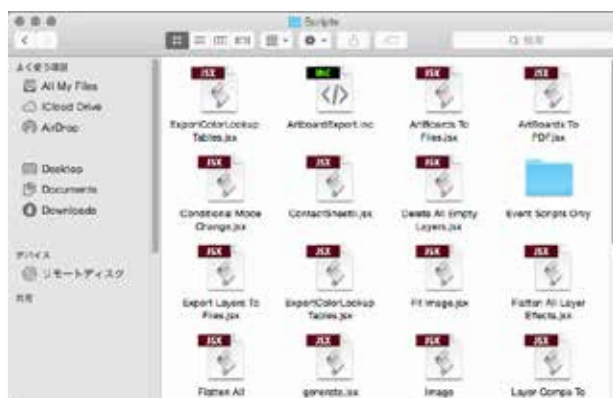
※過去バージョンの「ABPs」は自動的に削除されませんのでご注意ください。

過去バージョンをアンインストールする場合には、「3-4. macOSでのアンインストール」3-6ページをご覧ください。

① 「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを「Scripts」フォルダにコピーする方法(macOSの場合)

手順1 Photoshopの「Scripts」フォルダを開く

Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダは、Photoshopが「macintosh HD」にインストールされている場合は、**Macintosh HD→アプリケーション→Adobe→Adobe Photoshop CC XXXX→Presets→「Scripts」フォルダ**となります。この「Scripts」フォルダを開きます。



手順2 「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを「Scripts」フォルダにコピーする

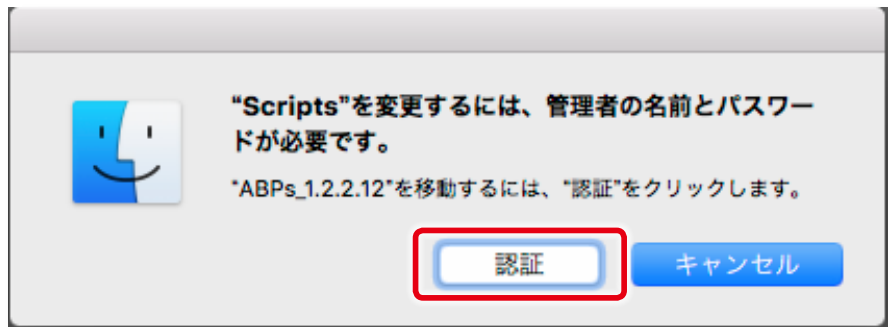
ダウンロードして解凍した「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを、Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダの中にドラッグしてコピーします。

※「ABPs1.2.x.xx」の「x」は、バージョン番号(数字)になります。



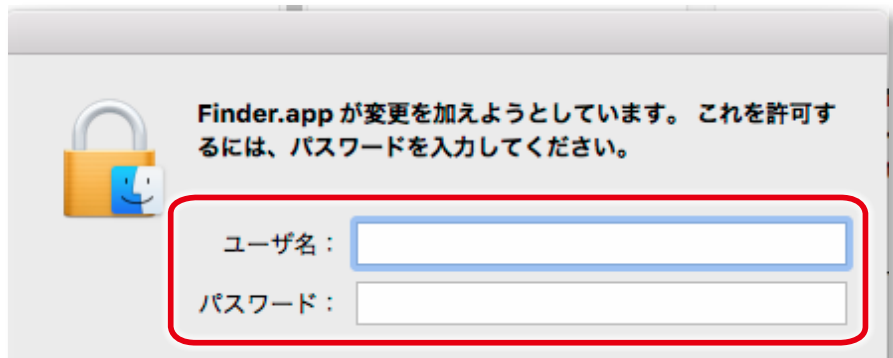
手順3 管理者権限の認証

「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを、Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダの中にドラッグしてコピーする際に管理者の認証が必要になる場合があります。

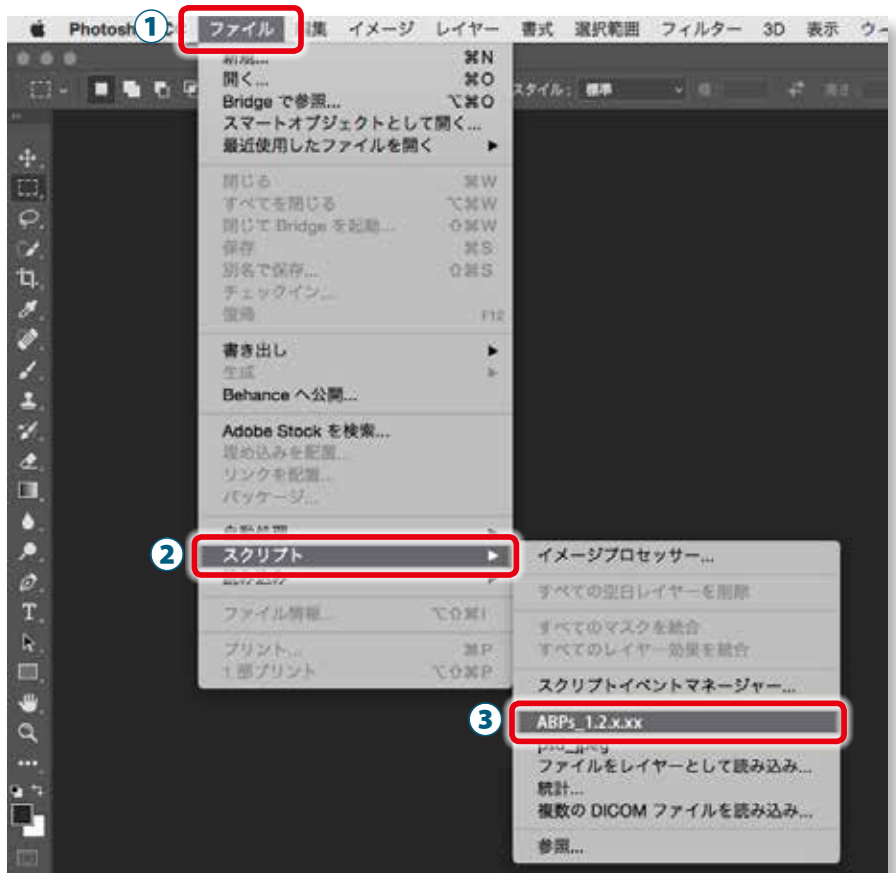
**手順5 管理者権限の認証**

ユーザー名、パスワードを入力します。

※不明な場合は、システム管理者にお問い合わせ下さい。

**手順6 「ABPs」スクリプトのメニュー表示**

Adobe Photoshop®の①「ファイル」メニューから②「スクリプト」を選択し、③「ABPs_1.2.x.xx」が表示されます



② 「ABPs」スクリプトを都度、読み込んで起動する方法(macOSの場合)

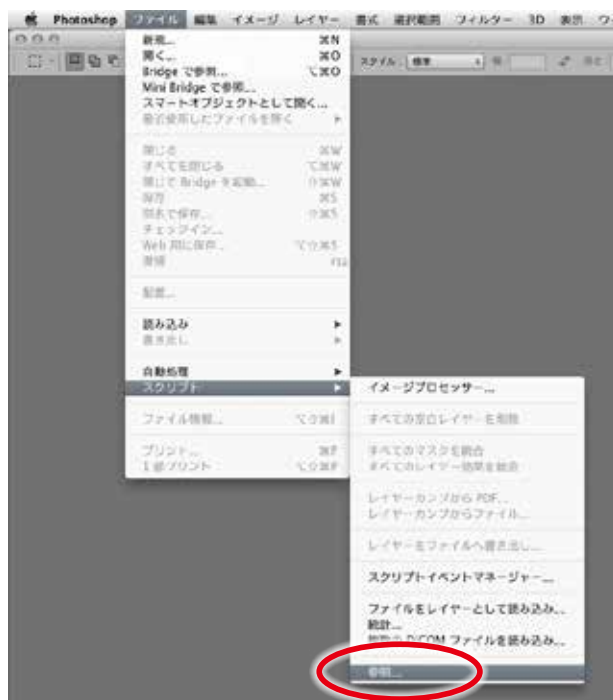
※こちらの方法は、ABPs1.2.x.xxフォルダを保持し都度同じ操作が必要となりますので、3-2 ページの「① 「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを「Scripts」フォルダにコピーする方法(macOSの場合)」をお奨めいたします。

手順1 Adobe Photoshop® の起動

Adobe Photoshop®を起動してください。

手順2 「スクリプト／参照…」をクリック

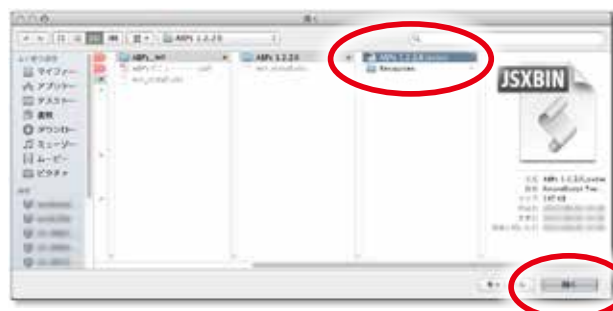
Adobe Photoshop®のメインメニューの「ファイル」から「スクリプト」と進み、さらにサブメニューの「参照」をクリックしてください。



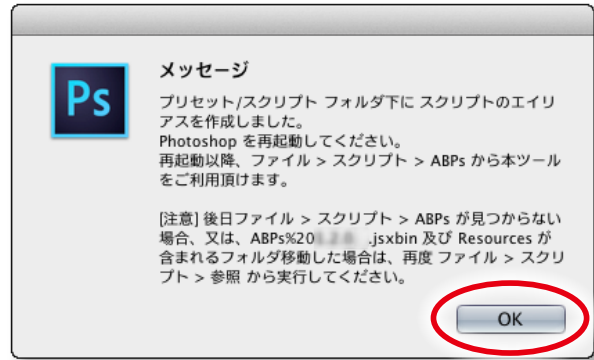
手順3 「ABPs.jsxbin」を選択

ダウンロードして解凍した「ABPs」のフォルダの中に入っている「ABPs.jsxbin」を選択してください。

「開く」ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



右図のメッセージが表示されたら「OK」をクリックしてください。



「ABPs」の利用規程(右図参照)が表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

- このメッセージは「ABPs」をご利用頂く上での注意事項と免責事項が書かれています。ご一読ください。
- 「次回以降表示しない」にチェックを入れると、次回以降からはこのメッセージを表示しないようになります。



「ABPs」の操作パネルが表示されるとインストールは完了です。「閉じる」ボタンをクリックしてください。



手順4 Adobe Photoshop® を再起動する

「ABPs」を有効にするため、Adobe Photoshop®を一旦終了し、再度Adobe Photoshop®を起動してください。

- コンピュータを再起動する必要はありません。



なお、「ABPs」の操作方法については、「5. 「ABPs」の起動」5-1ページ以降をご覧ください。

3-4. macOSでのアンインストール

MacOSの場合

macOSにおいて「ABPs」をアンインストールする場合は、以下の方法で行ってください。

手順1 「ABPs」を初期状態に戻す

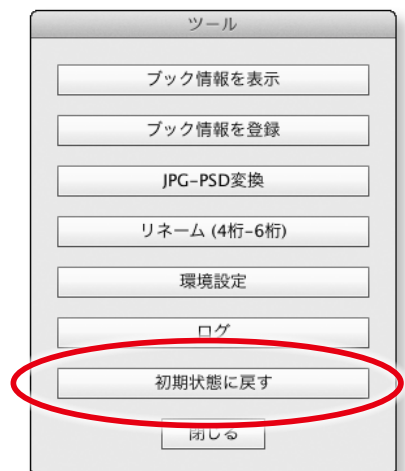
Photoshopを起動してください。

さらに「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックします。



手順2 「初期状態に戻す」をクリック

さらに「初期状態に戻す」ボタンをクリックしてください。



「ABPs」が初期化され、右図のメッセージが表示されます。



手順3 Adobe Photoshop® の「Scripts」フォルダを開く

まず、Adobe Photoshop®を終了してください。

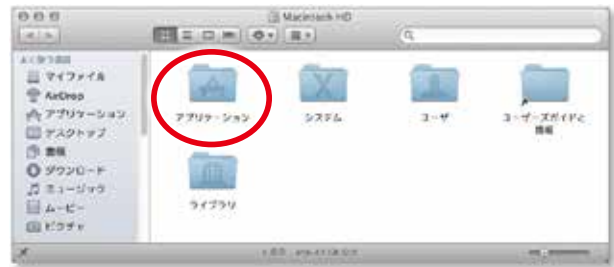
次に、デスクトップ上の「Macintosh HD」の起動ディスクをダブルクリックして開いてください。



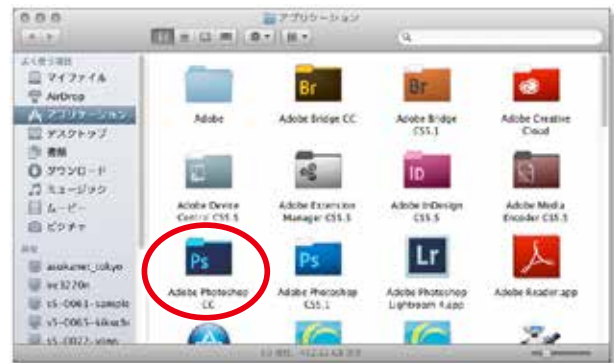
- デスクトップ上に「Macintosh HD」が表示されていない場合は、Dockの「Finder」をクリックすると「Macintosh HD」のウインドウが表示されます。



「アプリケーション」フォルダをダブルクリックして開いてください。



「Adobe Photoshop®」フォルダをダブルクリックして開いてください。



「Presets」フォルダをダブルクリックして開いてください。



ご注意

- Adobe Photoshop®のバージョン違いを複数インストールしている場合は、フォルダ名を確認しながら目的のバージョンのフォルダを探し出してください。

さらに「Scripts」フォルダをダブルクリックして開いてください。

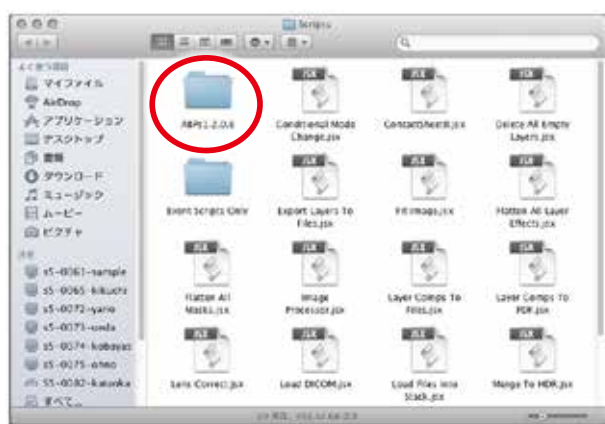


手順4 「ABPs」フォルダを取り除く

「Scripts」フォルダの中に「ABPs」というフォルダがインストールされています。この「ABPs」フォルダを「Scripts」フォルダの外に出してください(もしくは削除してください)。これにより「ABPs」はAdobe Photoshop®のスクリプトメニューから外れ、動作しなくなります。

ご注意

「Scripts」フォルダの中にはAdobe社が提供する数多くのスクリプトプログラムがインストールされています。誤ってこれらを削除しないように充分にご注意ください。



4. ABPs のインストール Windows の場合

Windows の場合

「ABPs」は、「ASUKABOOK.jp」のホームページの「サポートツール」の「ダウンロード」からダウンロードしてください。

ダウンロード：https://asukabook.jp/support_tool/download.html

この章では「ABPs」のダウンロードが完了しているものとして、インストールの解説を進めます。

4-1. Windows でのインストール

Windows コンピュータに「ABPs」をインストールする場合は、以下の作業を行ってください。

もし、macOS コンピュータに「ABPs」をインストールする場合は、「3. ABPs のインストール macOS の場合」3-1 ページに戻って作業を行ってください。

Windows コンピュータへのインストールは半自動になります。また、最新バージョンをインストールする前に、過去バージョンを手動で削除する必要がありますので、ご了承ください。

4-2. ダウンロードしたファイルの解凍

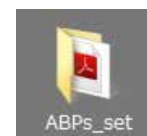
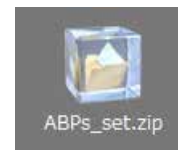
ダウンロードされたファイルは「Zip」(ジップ)という圧縮されたファイルになっていますので、このままでは機能しません。必ず解凍してからお使いください。

解凍すると「ABPs_set」というフォルダが出てきます。

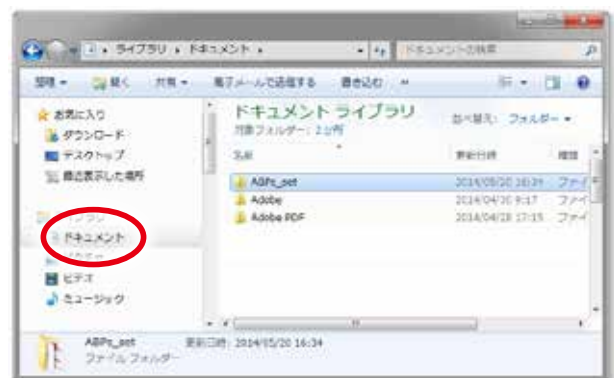
ご注意

- Windows Vista、Windows 7、および8 では OS の標準機能として Zip ファイルを解凍することが出来ます。

ダウンロードした「ABPs_set.zip」ファイルを解凍すると「ABPs_set」フォルダが現れる。



- 解凍後の「ABPs_set」フォルダは「ダウンロード」フォルダの中に、または「ドキュメント」フォルダの中に置くことをお勧めいたします。



「ABPs_set」フォルダを「ドキュメント」フォルダの中に置いた場合

解凍すると「ABPs」フォルダと取扱説明書などが現れます。中には2つのファイルと、1つのフォルダが入っていることを確認してください。

① ABPsフォルダ

「ABPs」のプログラムが格納されているフォルダです。数字はバージョンを示します。

② win_install_v2.vbs

Windows 専用のインストール補助プログラムです。「ABPs」のインストール時、もしくはアンインストール時に Adobe Photoshop® の「Scripts」フォルダを開くためだけに使用します。

③ ABPs_manual_9x.pdf

「ABPs」の取扱説明書(本書)です。

アドバイス!

- 「ABPs」は、macOS、Windows 共用です。どちらのOSでも動作します。



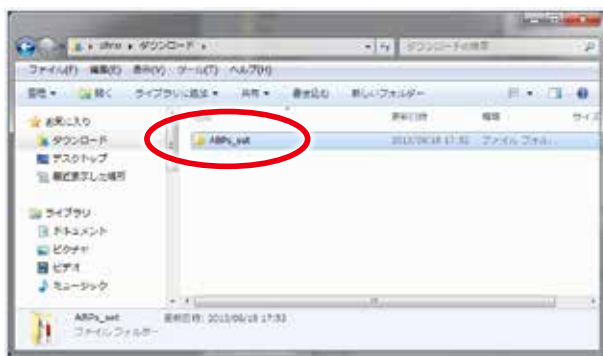
4-3. Windowsでのインストール

Windows コンピュータに「ABPs」をインストールする場合は、以下の作業を行ってください。

Windows コンピュータへのインストールは半自動になります。また、最新バージョンをインストールする前に、過去バージョンを手動で削除する必要がありますので、ご了承ください。

手順1 ダウンロードした「ABPs_set」フォルダを開く

上記でダウンロードした「ABPs_set」フォルダをダブルクリックして開きます。

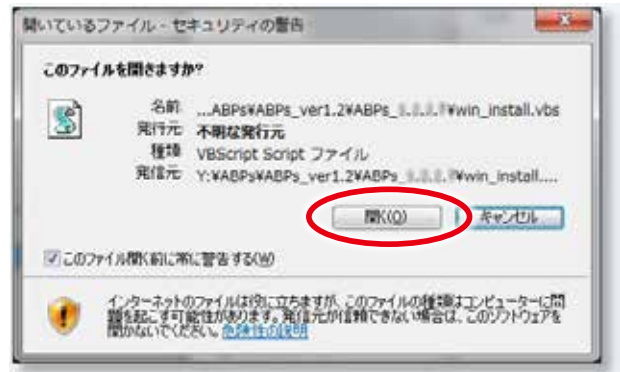


手順2 「win_install_v2.vbs」を起動する

Adobe Photoshop® の「Scripts」フォルダを開く必要がありますので、「ABPs_set」フォルダの中にある「win_install_v2.vbs」をダブルクリックして起動します。



WindowsOSから右図のようなメッセージが表示されますので、「開く」ボタンをクリックしてください。

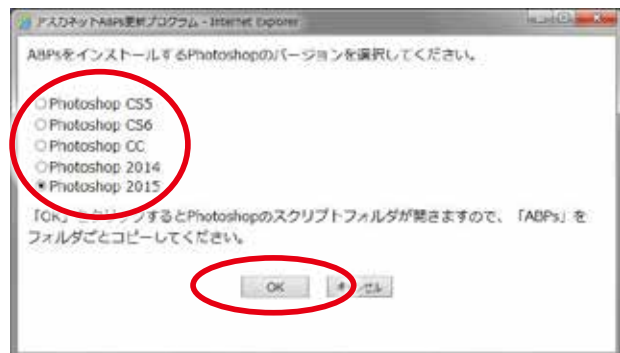


手順3 Photoshopのバージョンを選ぶ

「アスカネットABPs更新プログラム」というダイアログが表示されます。

Adobe Photoshop®のバージョンを選択してください。

その後、「OK」をクリックしてください。

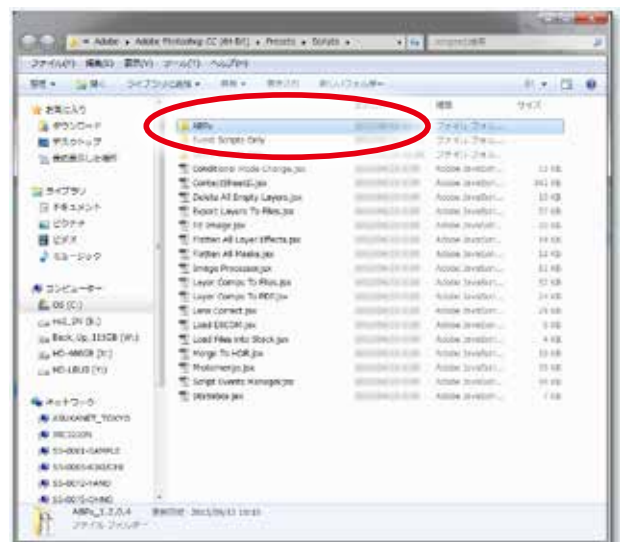


手順4 「ABPs」の過去バージョンを削除する

Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダが開きます。

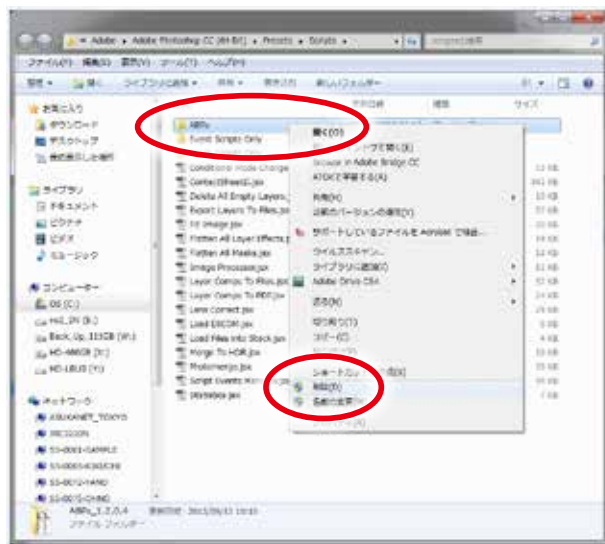
今までにも「ABPs」をお使い頂いていた場合には、過去のバージョンが入っていますので、これを削除してください。

- ABPs 1.2.0.6 以前のバージョンは、フォルダにバージョン番号が記載されていません。
- 今回初めて「ABPs」をインストールされる場合は「手順4」を飛ばして「手順5」へ進んでください。

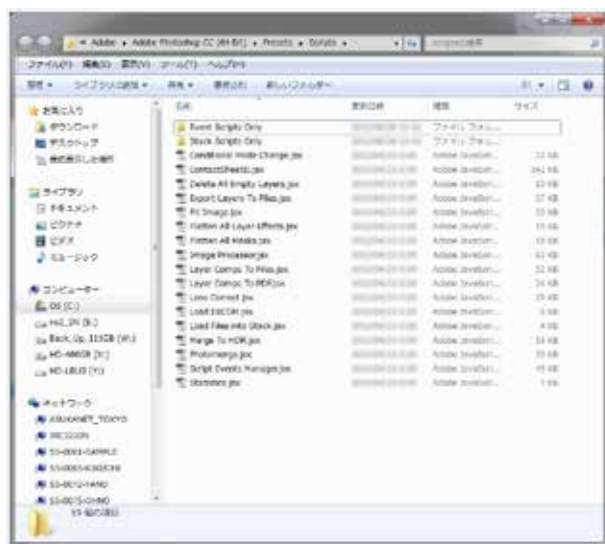


過去バージョンの「ABPs」フォルダを選択したら、右クリックしてください。プルダウンメニューが表示されますので「削除」をクリックすると、過去バージョンのフォルダが削除されます。

- 過去バージョンの「ABPs」フォルダを選択してから「DEL」キーを押すことでも削除できます。

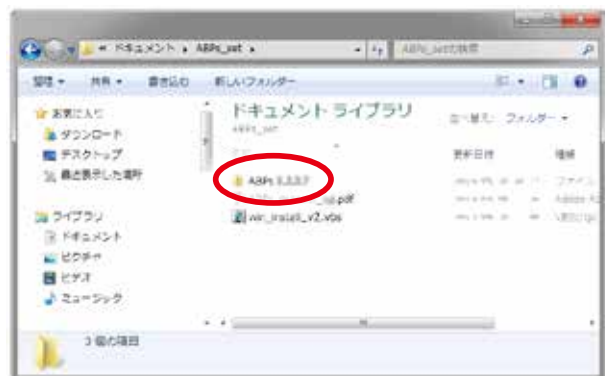


過去バージョンの「ABPs」フォルダが削除されました。



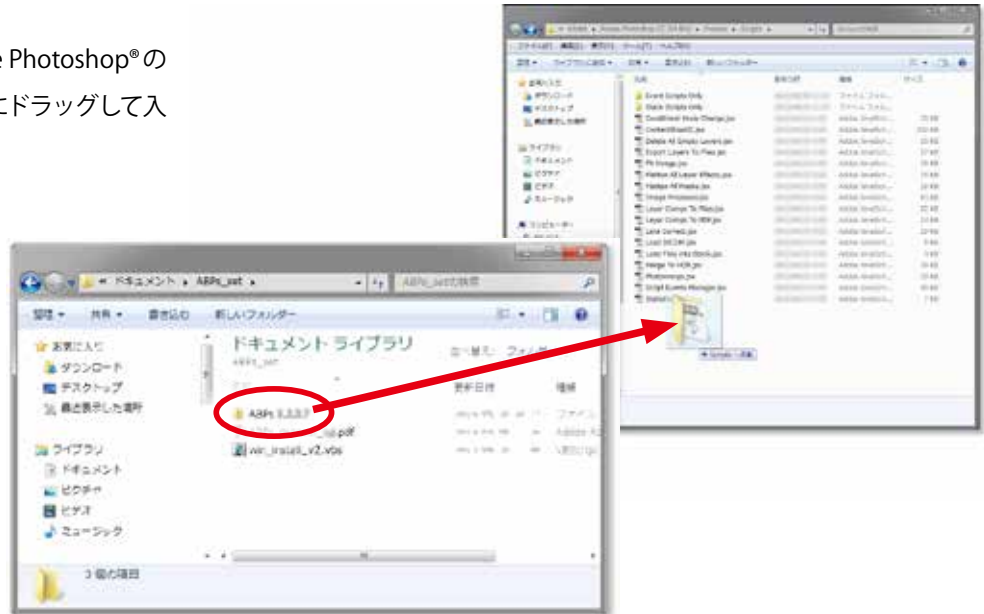
手順5 「ABPs」フォルダをコピーする

ダウンロードした「ABPs_set」フォルダの中にある「ABPs_1.2.2.x」フォルダを、Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダの中にコピーします。



「ABPs」フォルダを Adobe Photoshop® の「Scripts」フォルダの中にドラッグして入れてください。

- カット&ペースト、もしくはコピーして頂いても結構です。

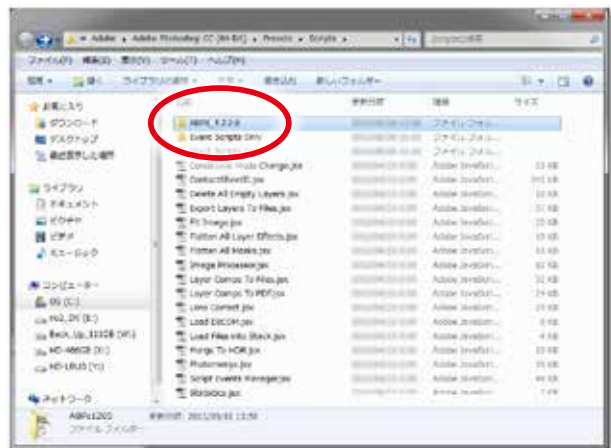


Windowsでは、右図の様に「管理者のアクセス許可」を求めるメッセージが表示されますので、「続行」をクリックしてください。



Adobe Photoshop® の「Scripts」フォルダに「ABPs」フォルダがコピーされたことを確認してください。

- 確認できましたら「スクリプト」フォルダを閉じてください。



手順6 Adobe Photoshop® を起動する

Adobe Photoshop® を起動してください。



「ABPs」の操作方法については、「5. 「ABPs」の起動」5-1ページ以降をご覧ください。

4-4. Windowsでのアンインストール

Windowsにおいて「ABPs」をアンインストールする場合は、以下の方法で行ってください。

手順1 「ツール」をクリック

Adobe Photoshop®を起動し、さらに「ABPs」を起動してください。

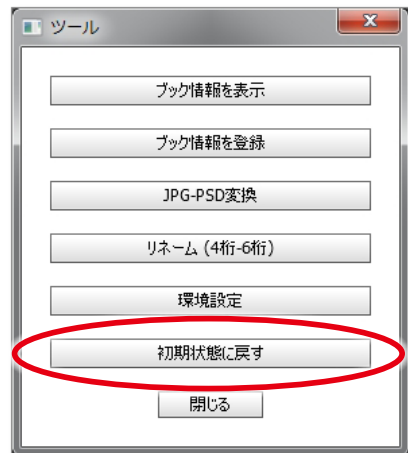
次に「ツール」ボタンをクリックしてください。

- 「ABPs」の設定ファイルを削除します。

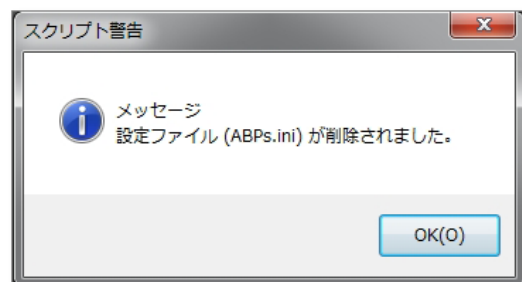


手順2 「初期状態に戻す」をクリック

「ツール」パネルを表示されますので、「初期状態に戻す」ボタン(右図赤丸印参照)をクリックしてください。



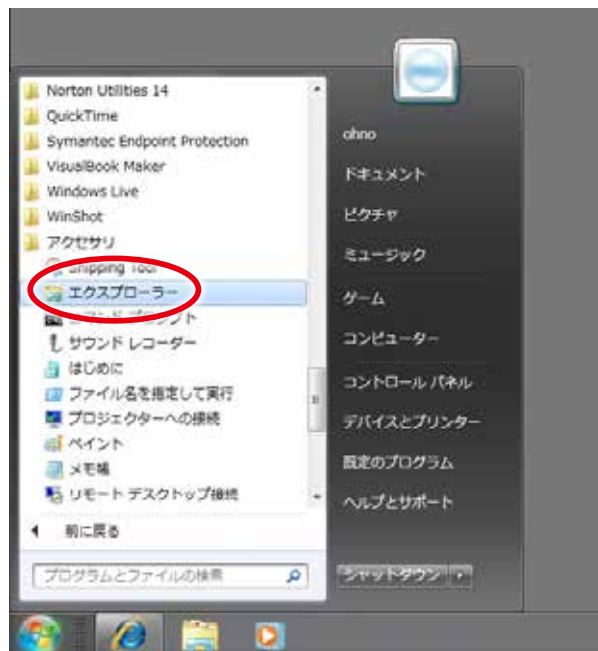
「ABPs」が初期化され、右図のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



手順2 Adobe Photoshop® の「Scripts」フォルダを開く

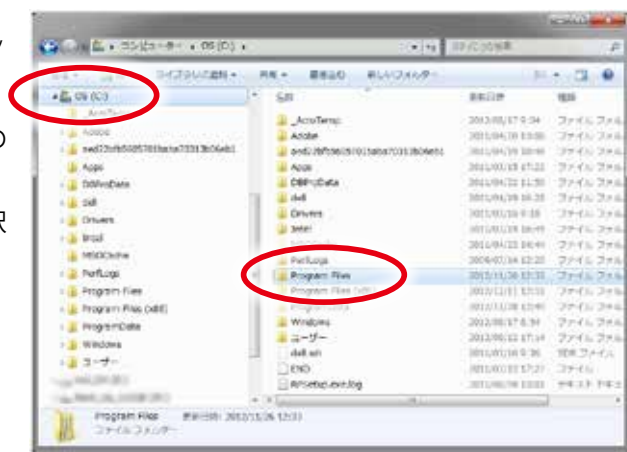
Adobe Photoshop® が起動している場合は終了してください。

次に、Windowsの「スタート」から「すべてのプログラム」をクリックし、さらに「アクセサリ」の中の「エクスプローラ」をクリックして開いてください。

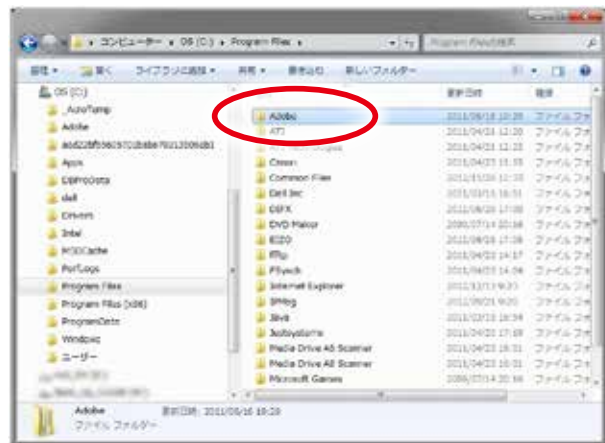


「C」ドライブの中での「Program Files」フォルダをダブルクリックして開いてください。

- お使いのAdobe Photoshop®のバージョンが「64bit」版の場合は「Program Files」フォルダを選択してください。
- 「32bit」版の場合は「Program Files(x86)」フォルダを選択してください。



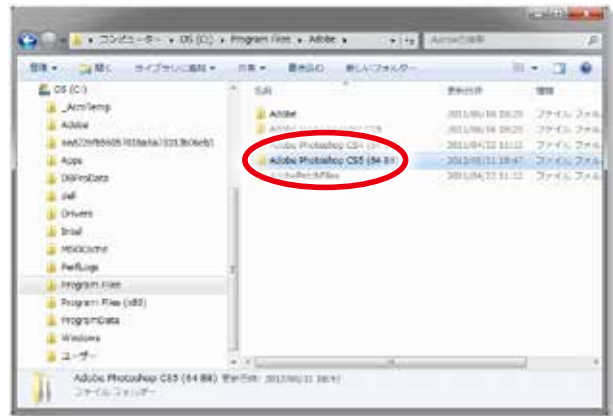
「Adobe」フォルダをダブルクリックして開いてください。



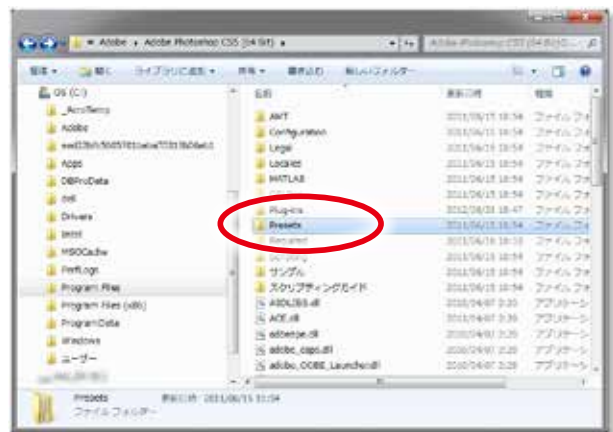


「Adobe Photoshop」の該当するバージョンのフォルダをダブルクリックして開いてください。

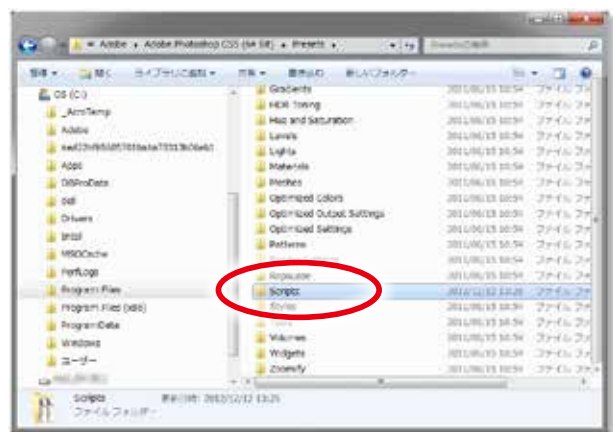
- Adobe Photoshop®のバージョン違いを複数インストールしている場合は、目的のバージョンのフォルダを捜してください。



「Presets」フォルダをダブルクリックして開いてください。



「Scripts」フォルダをダブルクリックして開いてください。



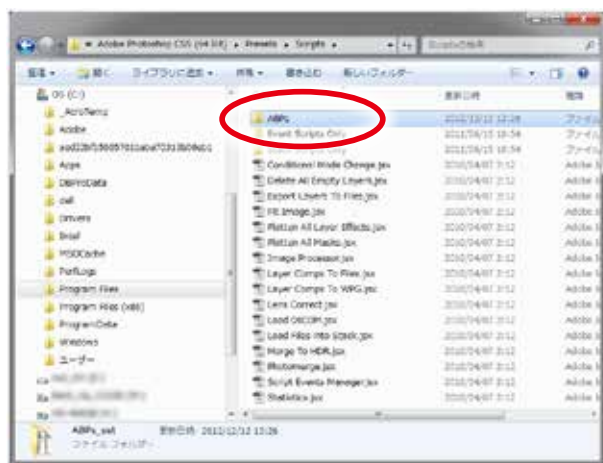
手順3 「ABPs」フォルダを取り除く

「Scripts」フォルダの中に「ABPs」というフォルダがインストールされています。この「ABPs」フォルダを「Scripts」フォルダの外に出してください(もしくは削除してください)。

これにより「ABPs」はAdobe Photoshop®のスクリプトメニューから外れ、動作しなくなります。

ご注意

「Scripts」フォルダの中にはAdobe社が提供する数多くのスクリプトプログラムがインストールされています。誤ってこれらを削除しないように充分にご注意ください。



5. 「ABPs」の起動

- 以下の説明はmacOSで行っています。ファイルやフォルダの表示についてはそれぞれのOSに依存しますが、基本的な操作方法はWindowsでも同様となります。

手順1 Photoshopの起動

まず、Adobe Photoshop®を起動してください。

手順2 「ABPs」をクリック

Adobe Photoshop®のメインメニューの「ファイル」から「スクリプト」と進み、さらにサブメニューの「ABPs」をクリックしてください。

- ABPsバージョン1.2.0.6からは、Photoshopのサブメニューに「ABPs 1.2.2.7」のようにバージョン番号が表示されるようになりました。



ご注意

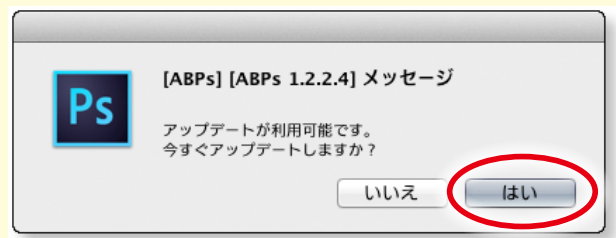
もし、右図のメッセージが表示された場合は「はい」をクリックして「ABPs」の情報を更新してください。

解説 ABPs情報のアップデート

Adobe Photoshop®には、バージョンによって対応するAdobe Bridge®との組み合わせがあります。

Adobe Creative Cloudになってからは各アプリケーションが頻繁に更新されるようになりました。このため「ABPs」では起動時に弊社のサーバーからこの組み合わせ情報を取得するように改良いたしました。（ABPs 1.2.2.4以降の機能）

「ABPs」の情報が更新されると右図のメッセージが表示されますので「OK」をクリックしてメッセージを閉じてください。



「ABPs」の利用規程(右図参照)が表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

●このメッセージは「ABPs」をご利用頂く上での注意事項と免責事項が書かれています。ご一読ください。

●「次回以降表示しない」にチェックを入れると、次回以降はこのメッセージを表示しないようになります。



「ABPs」の操作パネルが起動します。

アドバイス!

「手順2」でメニューをクリックする行程が煩わしい場合は、Adobe Photoshop®のアクションに「ファイル/スクリプト/ABPs」を登録し、ショートカットキーを設定しておくとう便利です。



ご注意 「3D機能」に関する警告について

「ABPs」を起動する際、右図のメッセージが表示されることがあります。

このメッセージはAdobe Photoshop® CC に搭載されている「3D機能」を利用するためにはお使いになっているコンピュータの表示装置のメモリ容量が不足している旨の警告です。

通常の写真画像処理では「3D機能」を使用しません。もちろん「ABPs」でも「3D機能」を使用しませんので、この警告が気になる場合は「再表示しない」にチェックを入れておくとよいでしょう。(赤枠部分参照)



6. ホワイトベース

ASUKABOOK®を制作するに当たり、商品の指定、紙面の大きさや解像度を指定した白紙のブックファイルを用意する必要があります。アスカネットではこの白紙のブックファイルを「ホワイトベース」と呼んでいます。「ABPs」はASUKABOOK®の商品名、サイズ、ページ数などを指示すればホワイトベースを自動生成する機能を持っています。

6-1. ホワイトベースの作成

手順1 「新規ホワイトベース」をクリック

「ABPs」を起動し、操作パネルの「新規ホワイトベース」ボタンをクリックします。



手順2 ブックの仕様を選択

新規ホワイトベースのダイアログが表示されますので、これから制作するブックの仕様を選択します。

商品名、サイズ、ページ数、本文仕上げ、プロファイルを順に選択してください。



なお、「商品画像」にチェックを入れると右図のようにダイアログの下方に代表的な商品写真が表示されます。



ご注意

もし、この右図のようなメッセージが表示される場合は、Adobe Photoshop®の新規作成における解像度の単位が「pixel/cm」になっています。

「キャンセル」をクリックしてホワイトベースの作成を中止して、Adobe Photoshop®の解像度単位の変更を行ってください。

変更の方法は次のページの「新規作成の解像度単位の変更方法」をご覧ください。



アドバイス!

「ABPs」は「pixel/inch」で解像度の指定を行っています。

ASUKABOOKは 表紙ページ、ケースは解像度260dpi、本文ページは271dpi となっています。

解説 新規作成の解像度単位の変更方法

手順1

Adobe Photoshop®のメインメニュー「ファイル」 から「新規」をクリックします。



手順2

解像度の単位を「pixel/inch」に変更してください。その後「OK」ボタンをクリックしてください。

- この項目の設定変更を行った場合は、「OK」ボタンをクリックして一度何らかのファイルを作成してください。この操作を行わないと設定変更が有効になりません。



6-1-1. ブック仕様の選択について

- 「サイズ」、「ページ数」、「本文仕上げ」については、選択した「商品名」によって選択肢が変わります。
- 「サイズ」、「ページ数」、「本文仕上げ」については、後から変更することができます。
- 「カラープロファイル」は、基本的には使用する画像素材と同じプロファイルを選択してください。「sRGB」と「AdobeRGB」が混合する場合、および判断に迷う場合は「AdobeRGB」を選択してください。

すべてを選択したら「OK」をクリックしてください。

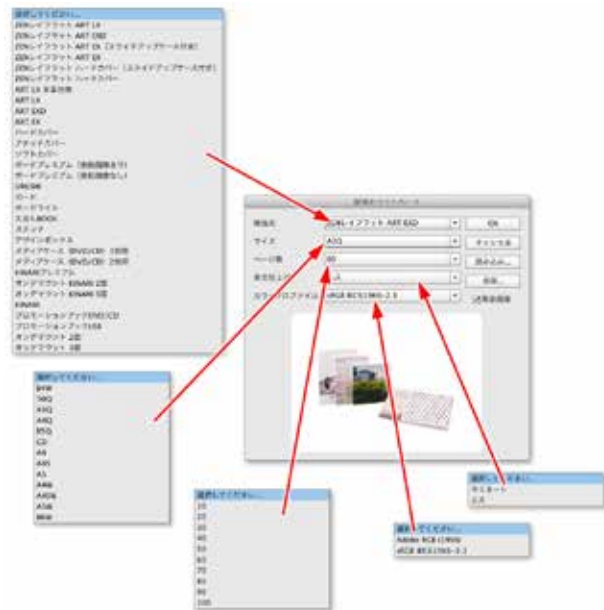
◆参考◆



ASUKABOOK®の特徴、種類については弊社のホームページ

https://asukabook.jp/products/products_list.html

をご覧ください。

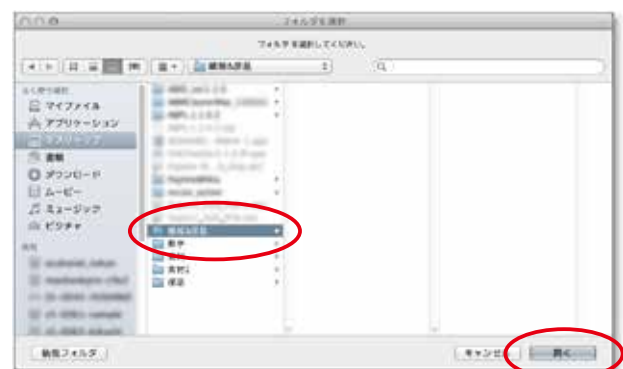


ブックファイルを作成するフォルダを選択

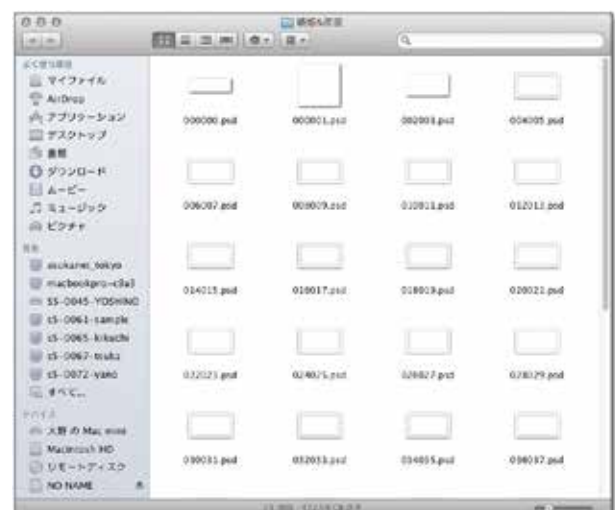
前の工程で「OK」ボタンをクリックしたことにより、「フォルダを選択」ダイアログが表示されます。

これから作成するブックファイルを保存する場所を選択して、「開く」ボタンをクリックすると、ホワイトベースの作成が始まります。

- ホワイトベースの作成には多少の時間が掛かります。時間はブックサイズ、ページ数、お使いのコンピュータの能力により異なります。

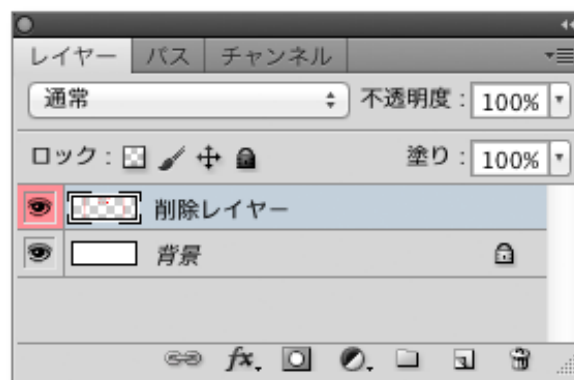


上記で選択したフォルダの中を確認してください。選択された商品名、サイズなどに相当するホワイトベースが生成されています。



6-2. ホワイトベースの仕様について

- 「ABPs」により生成するホワイトベースは、ひとつのフォルダに「表紙」、「本文」の全てをPSD形式画像ファイルとして生成されます。
- 「本文」ファイルは、解像度271dpi（ASUKABOOK®標準印刷解像度）で出力されます。「表紙」、「ケース」については、解像度260dpiで出力されます。
- ASUKABOOK®のホワイトベースは、全て「左綴じ」として生成されます。
- ケースが付属し、デザインができる商品の場合は「ケース」ファイルも生成されます。
- 商品名に「ART LX」とあるものは、「表紙ファイル」が「ケースファイル」に相当します。
「ART LX」「ART LX 本革」は、表紙が合皮、本革、もしくはデザイン用紙で装丁されるため、表紙の部分をお客様がデザインすることができません。ファイル名「000000.psd」は表紙ページではなく、ケース用のファイルとなります。
- 「本文」にはページの周辺部に幅3mmの「裁ち落とし」領域を設けています。また、「表紙」、「ケース」については、商品ごとにそれぞれ独自の裁ち落とし領域を設けています。なお、各ページの寸法と解像度を変更しないでください。変更すると、注文用PDFを書き出す際にエラーとなります。
- 「ABPs」が生成するホワイトベースには、下図のように赤字で書かれた解説が入っているページがあります。
この表記は「削除レイヤー」というレイヤーに書かれていますので、Photoshopのレイヤーパネルをご覧頂くと確認することができます。この解説や注意事項をよくお読みになり、レイアウトの参考にしてください。
なお、この「削除レイヤー」は、注文用PDFを書き出す際には出力されません。よってこの「削除レイヤー」に写真などのオブジェクトを配置していると注文用PDFに書き出されませんのでご注意ください。



「削除レイヤー」はレイヤーパネルで確認することができます。

解説 カラープロファイルについて

① 写真素材にはカラープロファイルを埋め込む

写真素材として使用する画像ファイルには、必ずカラープロファイルを埋め込んでください。カラープロファイルは「sRGB」、もしくは「AdobeRGB」をご利用ください。

なお、プロファイルが埋め込まれていない画像ファイルについては、お客様がご利用のコンピュータの環境により、色調が本来の状態より異なる場合がありますので、ご注意ください。

現在のMacOS、およびWindows上で扱われる画像については、カラープロファイルを埋め込んで流通させることが、色調を維持する上での基本となっています。よって、カラープロファイルが埋め込まれていない画像については、印刷においても色の保証ができませんのでご了承ください。

② ホワイトベースのカラープロファイルの選択について

新規ホワイトベースの作成時の「手順2」においてカラープロファイルを選択する場合は、原則としてお使いのデジタルカメラに設定されているカラープロファイルと同じプロファイルを選んでください。

RAW 現像画像の場合は、現像時と同じプロファイルを選んでください。

JPEG 撮影の場合	デジタルカメラをお使いの場合、工場出荷状態ではJPEG撮影の画像は「sRGB」になります。なお、デジタルカメラを操作して撮影プロファイルを変更すれば「AdobeRGB」を利用することができます。
RAW 撮影の場合	撮影前ではなく、RAWデータ現像の時点で「sRGB」もしくは「AdobeRGB」を選択することが出来ます。

画像ファイルのカラープロファイルは画像入力機器の状態によって決まります。デジタルカメラでJPEG撮影の場合は、工場出荷状態では「sRGB」に設定されています。なお、デジタルカメラを操作して撮影プロファイルを変更すれば「AdobeRGB」を利用することができます。詳しくはお使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

③ CMYK画像は利用しない

ASUKABOOK®では「RGB入稿方式」を採用しています。このため、「ABPs」でもホワイトベースを「RGBモード」で生成し、カラースペースを「sRGB」もしくは「AdobeRGB」を選択して頂くようにしています。このためご利用になる画像やイラストは原則として全て「RGBモード」のものをご利用ください。

Adobe Photoshop® の動作としては、RGBモードで作成されたホワイトベースに対してCMYK画像を貼付(コピー)しても自動的にRGBモードに変換されますが、CMYKカラープロファイルの特性上、RGBモードに戻した場合の色調は保証の限りではありませんのでご注意ください。

7. 書き出し(注文用JPEGの作成)

注文用JPEGファイルを書き出すには、「ABPs」の「書き出し」機能を使います。

※ABPs 1.2.2.9からPDFデータ作成用のFile Checkerは、ご利用になれません。

手順1 「書き出し」をクリック

「ABPs」を起動し、操作パネルの「書き出し」ボタンをクリックします。

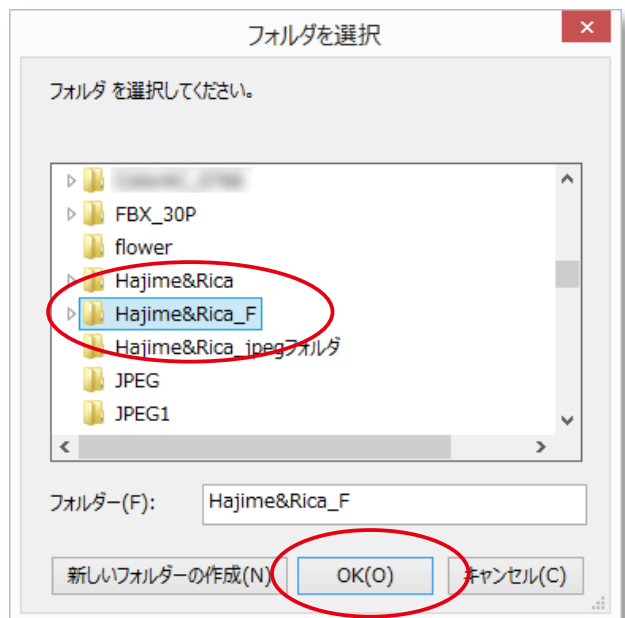


手順2 PSDフォルダを選択

「書き出し」ダイアログが表示されますので、「PSDフォルダを選択してください」をクリックしてください。



「フォルダを選択してください」というメッセージのダイアログが表示されますので、Adobe Photoshop® でレイアウトを行ったブックファイルが入ったフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



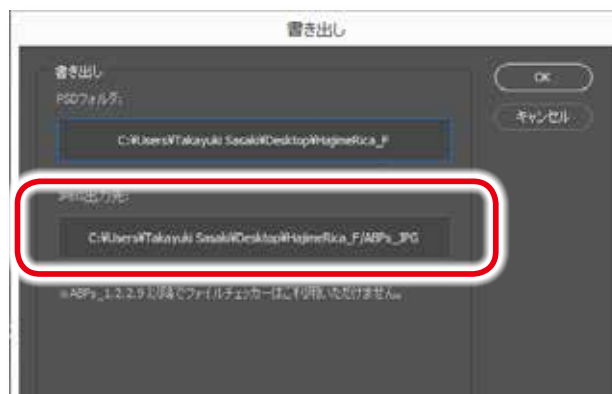


手順3 JPEG出力先の選択

ダイアログが右図に戻ります。

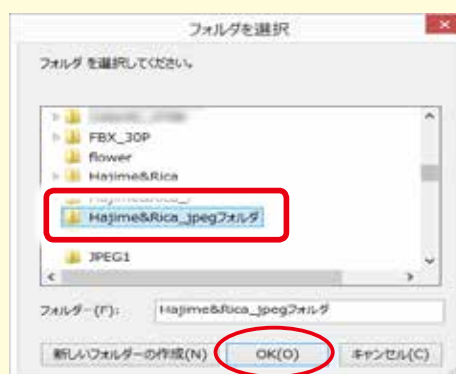
次にJPEGファイルの保存先フォルダを選択するのですが、「ABPs_1.2.2.4」からは、「手順-2」でPSDフォルダを選択した時点でこのフォルダの直下に「ABPs_JPG」というJPEGを格納するフォルダを自動的に作成するようにしました。

JPEGを格納するフォルダを特に決めていなければこの「ABPs_JPG」をそのままお使いください。



アドバイス!

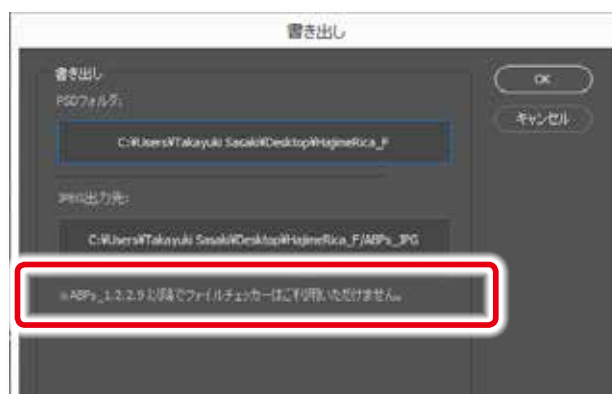
もし、「ABPs_JPG」以外のフォルダを指定する場合は、上図の赤枠部分をクリックすると右図の「フォルダを選択してください」というダイアログが表示されますのでJPEGファイルの保存先フォルダ(空のフォルダ)を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



ご注意

ABPs 1.2.2.9からPDFデータ作成用のFile Checkerは、ご利用になれません。

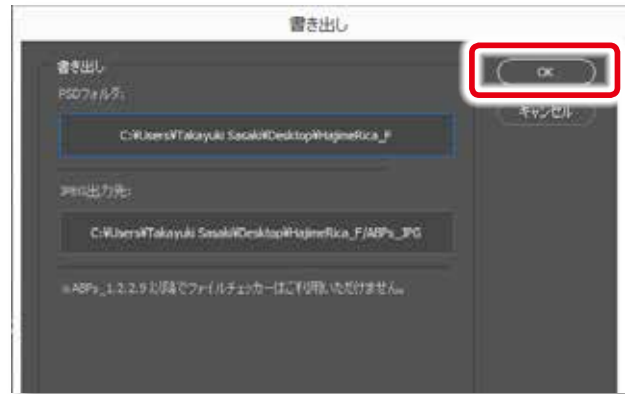
ご入稿はJPEGデータとなりますので、JPEGデータを書き出してください。



手順4 JPEGの書き出し

ダイアログが右図に戻ります。

「OK」をクリックすると、書き出しが始まります。

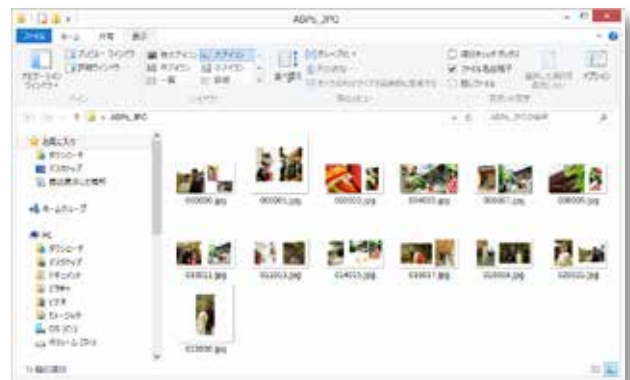
**アドバイス!**

Adobe Photoshop®がJPEGファイルを生成するにはある程度の時間がかかります。この時間はブックサイズ、ページ数、お使いのコンピュータの能力により異なります。

**手順5** フォルダが開きます。

「手順4」において「JPEG書き出し後、書き出されたフォルダが開きます。

ここで作成されたJPEGファイルをマイページから入稿します。



ご注文に関しては、「11. ご注文について」11-1ページをご覧ください。

8. ブック変換

すでにレイアウトができあがったブックファイルを使って、ブックの種類、サイズ、ページ数を変えることによって別の写真集を作ることができます。

例えば、「ART EXレイフラット仕様、A3Q、60ページ」を「ハードカバー、B5Q、40ページ」に変換することができます。

 **ブック変換に関しましては、13-1 ページの「13. 編集上の注意」も併せてご参照ください。**

8-1. ブック変換のルール

ABPsバージョン1.1からは、ブック変換の方法を変更しています。

ASUKABOOKはシリーズとして24種類、サイズとしては最大12種類(2014年5月現在)をご用意しています。このため、ブック変換の組み合わせが膨大になりました。よって、変換元のブックファイルから変換先のブックファイルを直接生成する従来の方法を辞め、変換先のホワイトベースを予め用意してから、変換元のレイヤーを変換先のホワイトベースにサイズ変更してコピーする方法に切り替えました。また、過去に制作したブックファイルを現行のシリーズに変換するためのツールも用意しました。このことにより、シリーズ間で変換できる組み合わせが従来より多くなりました。

なおこの変更に伴い、お客様にて行っていただく作業がございます。予めご了承ください。

8-1-1. 事前の準備

① 変換先のブックファイルの用意

変換先のブックファイル(PSDフォルダ)は、ABPsの「新規ホワイトベース」にて予め準備してください。

バージョン1.1より、ABPsは変更先のファイルを自動生成しないように変更しています。

このため、変更先のホワイトベースはお客様自身により、事前に用意して頂くようお願いいたします。



この方法については、「6-1. ホワイトベースの作成」6-1ページをご覧ください。

② ブック情報

変換元のブックファイルには、すべてのページにアスカネット独自の「ブック情報」が記述されている必要があります。過去に制作されたブックファイルの場合にはこの「ブック情報」が記述されていない場合がありますので、この情報を探り出し、登録するツールを用意しました。



この方法については、「9-2. ブック情報を登録」9-3ページをご覧ください。

③ 6桁のファイル名

変換元のブックファイルは、6桁のファイル名である必要があります。過去に制作されたブックファイルには4桁のものもあります。そこで、4桁のファイル名を6桁に変換するツールを用意しました。



この方法については、「9-4. リネーム(4桁-6桁)」9-7ページをご覧ください。

④ 扱えるファイルは「psd形式」のみ

「ABPs」において扱えるブックファイルは、「psd」形式のファイルのみです。もし、過去に制作したブックファイルをJPEG形式に変換して保管されている場合には、Adobe Photoshop®を使って「別名で保存」にて「psd」形式ファイルに変換してください。なお、「ABPs」では「JPEG→PSD変換」ツールを用意しました。



この方法については、「9-3. JPG-PSD変換」9-5ページをご覧ください。8-1-2. 注意事項

⑤ ブック変換処理の方法

変換処理は、変換元のブックファイルセットを変換先のブックファイルセット(新規ホワイトベースで作成したファイル)にコピーすることで行われます。選択した変換元のブックファイルセットに変更が加えられることはありませんので、ご安心ください。

⑥ 本文ページと表紙・ケースは個別に変換を

新しいブック変換方式では、本文ファイルと本文ファイル以外(表紙ファイル、ケースファイル)を独立して個別に変換してください。

◆例えば、変換元のブックファイルセットに、本文ファイル、表紙ファイル、ケースファイルの3種類がある場合に、これを同じ商品名の小さいサイズに変換するには、ツールの「ブック変換」機能を3回利用して各ファイルごとに変換を行ってください。

⑦ ブック変換の制限事項

⑦ -1. サイズ変換は、縮小の方向のみです。

拡大方向のサイズ変換には対応していません。このため、同じ写真素材を用いていくつかのサイズの写真集を制作する際には、必要とするサイズの最大サイズからレイアウトを初めてください。

例; B5QからA3Qへの変換はできません。

⑦ -2. 本文ファイルと表紙・ケースファイルの互換性

表紙ファイルとケースファイルは、本文ファイルに変換することはできません。

その逆の変換、つまり本文ファイルを表紙ファイル、およびケースファイルに変換することはできます。

また、表紙ファイルとケースファイルはお互いに変換できます。

変換できる例; ケースから表紙ページへ

変換できない例; 表紙ページから本文ページへ

⑦ -3. 縦横比が異なるブックサイズへの変換はできません。

変換できる例; A3Q→B5Q (いずれも正方形タイプ)

変換できない例; A3Q→A4 (正方形タイプ → 縦型タイプ)

⑧ 変換後にはレイアウト確認を

ブック変換は、仕上がり領域の高さ寸法を基準にサイズ調整を行っています。但し、一部適用されない商品もあります(例: 塗り足しより内側にガイドラインがある商品)。このため、ブック変換後はレイアウトされたデザインの横方向、もしくは縦方向のレイアウトが変換元と比較して位置ずれを起こすことがあります。ブック変換後には、必ず変換先のブックファイルセットを開き、レイアウトの確認を行い、必要に応じて微調整を行ってください。

特に表紙ファイルの「背表紙」部分は位置ずれが起きますので、必ず確認、微調整を行ってください。

解説

ブック変換は、各ページの仕上がり領域の高さ寸法を基準に縮小を行っています。

変換元の各ファイルの「仕上がり高さ」寸法を読み取り、これを変換先ファイルの「仕上がり高さ」になるように調整をしています。このため、ブック変換後はレイアウトされたデザインの横方向が、変換先の表紙ページの横方向に対して位置ずれを起こすことがあり、確認、および微調整が必要です。

また、ブックサイズが異なっても紙の厚みは同じですので、ページ数が同じであれば背表紙は同じ厚みになります。「背表紙」の部分には位置ずれが起こりますので、変換後には必ず変換先ファイルの表紙ページを開いてデザインの調整を行ってください。また、ケースファイルについても同様です。

⑨ カラープロファイルについて

変換元と変換先のブックファイルセットに埋め込まれているカラープロファイルがお互いに異なる場合は、ブック変換はできません。変換先のホワイトベース(ブックファイルセット)を作成する場合は、変換元のプロファイルをあらかじめ確認し、同じプロファイルを指定してください。

⑩ ページ数の増減について

ブックの種類、サイズを変更せずに、ページ数のみを変更すれば、ページを増やすことも、減らすこともできます。(一部制限あり)。ページ数を増やす場合は、最終ページの直前に空の白いページが挿入されます。



詳しくは「8-3. ブック変換/ページ数を増やす場合」8-16ページ、および「8-4. ブック変換/ページ数を減らす場合」8-17ページをご覧ください。

⑪ 変換ができない組み合わせ

「オンデマウント」、「オンデマウントKINARI」、「KINARIプレミアム」は、ブックの構造、および版型が他のシリーズと異なるため、ブック変換の対象になっていません。

これらのシリーズから他のシリーズにブック変換すること、および他のシリーズからこれらのシリーズに変換することはできません。

⑫ ブック変換の例外

「URUSHI」は他のシリーズと相互変換が可能です。

ただし、表紙等についてはレイアウトが大きく崩れますのでご注意ください。

解説

他のシリーズのホワイトベースは表て表紙面(表一)と裏表紙面(表四)が一对となっています。ところが、「URUSHI」はブックの構造上、裏表紙に写真をレイアウトすることができないことから、ホワイトベースは表て表紙面のみとなっています。このため、表紙ページを他のシリーズに変換する、もしくは他のシリーズから変換するとレイアウトが大きく崩れてしまいます。表紙ページは手作業にてレイアウト変換することをお勧めします。

8-2. ブック変換の基本操作

「ブック変換」の基本的な操作をご説明します。

ブック変換作業は、本文ページと表紙ページ(およびケース)を独立して行う必要があります。このため、変換作業を2回(ケースがある場合は3回)行うことになります。

手順1 「ブック変換」をクリック

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ブック変換」ボタンをクリックします。



8-2-1. 変換先のホワイトベースの準備

手順2 変換先ホワイトベースの用意

ブック変換の設定を行うに前に、変換先のホワイトベースを準備しておく必要があります。

「ブック変換」ボタンをクリックすると、右図のメッセージが表示されます。

- もし、この時点で「変換先ホワイトベース」を準備してある場合は「はい」をクリックして、「手順3」に進んでください。

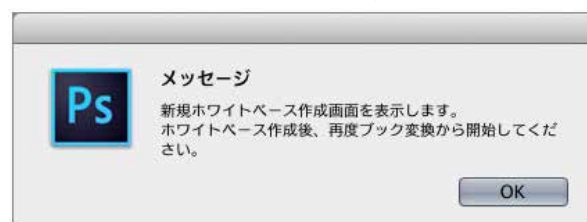
- 「変換先ホワイトベース」を準備していない場合は「いいえ」をクリックしてください。


「いいえ」を選択した場合

右図のメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると、「6-1. ホワイトベースの作成」6-1ページの「手順2」の行程に進んでください。



手順3 へ進む



 詳しくは、「6-1. ホワイトベースの作成」6-1ページをご覧ください。

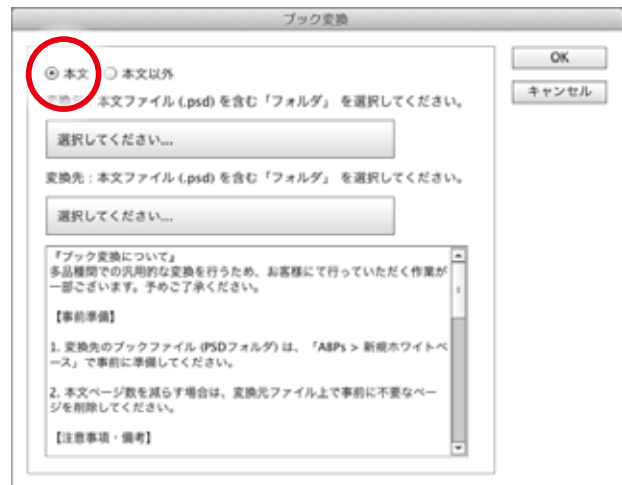


8-2-2. 本文ページの変換

手順3 「本文」を選択

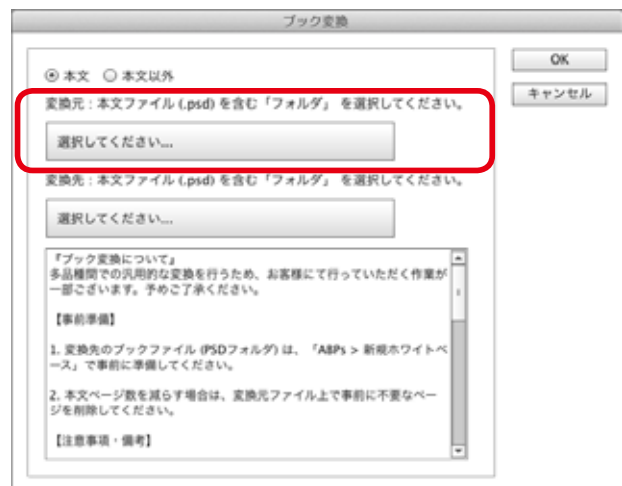
ブック変換ダイアログが表示されます。

ブック変換は、「本文」と「本文以外」とを別々に行います。
まず、「本文」を選択してください(右図赤丸参照)。

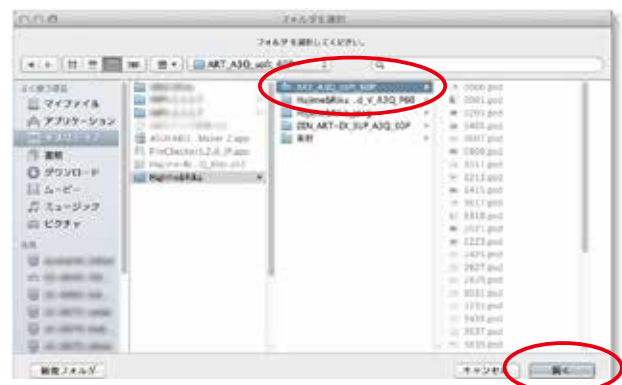


手順4 変換元フォルダの選択

変換元：本文ファイル(.psd)を含む「フォルダ」を選択するため、右図の赤枠部分の選択ボタンをクリックします。

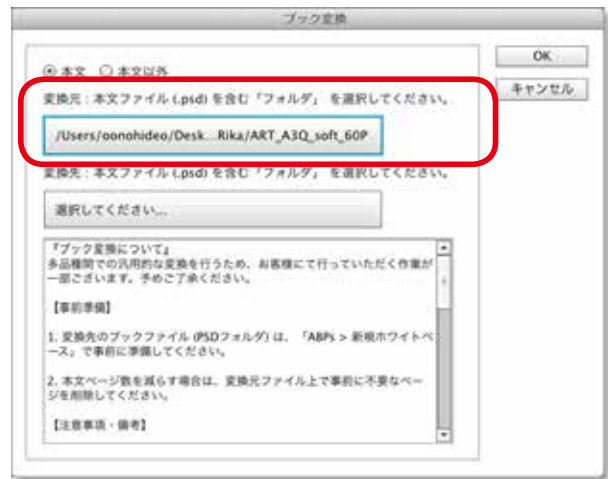


変換元ブックファイルが入っているフォルダを選択して、「開く」ボタンをクリックします。



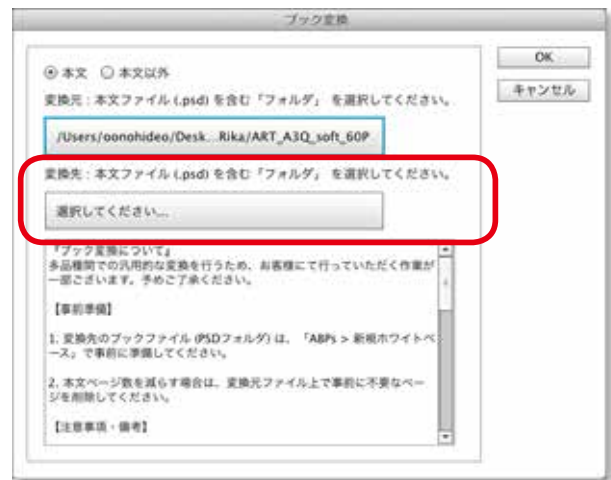
ブック変換ダイアログに戻ります。

変換元の選択ボタンに変換元のフォルダパスが表示されます。

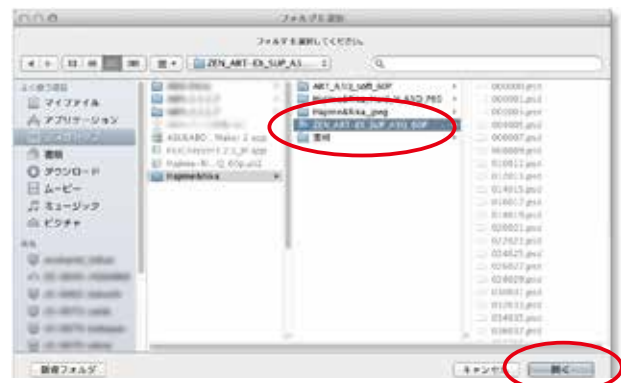


手順5 変換先フォルダの選択

変換先のホワイトベースが入っているフォルダを選択するため、右図の赤枠部分の選択ボタンをクリックします。

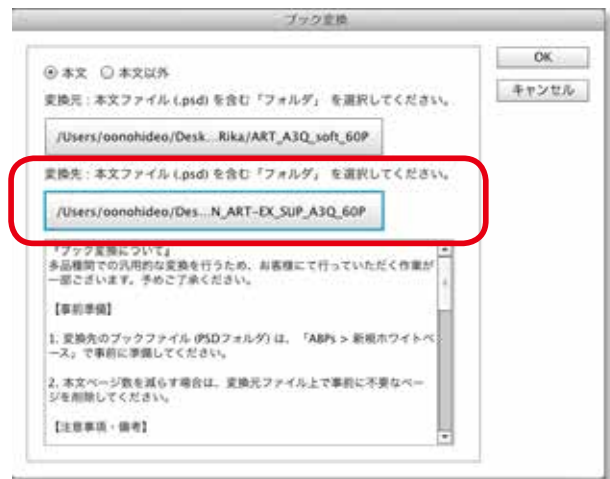


変換先のホワイトベースが入っているフォルダを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



ブック変換ダイアログに戻ります。

変換先の選択ボタンに変換先のフォルダパスが表示されます。



手順6 変換の実行

ここまでの操作で変換元、変換先のフォルダの選択ができました。

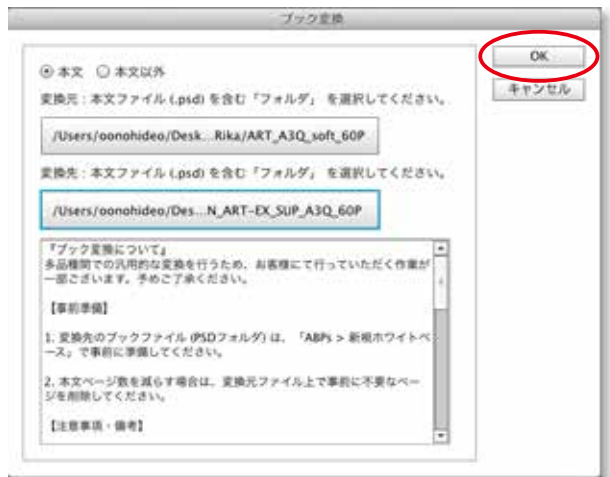
「OK」ボタンをクリックするとブック変換が始まります。

アドバイス！

ブック変換は、Adobe® Photoshop®が変換元と変換先のブックファイルを開いてレイヤーのコピーを自動で行います。この間、ある程度の時間がかかります。この時間はブックサイズ、ページ数、お使いのコンピュータの能力により異なります。

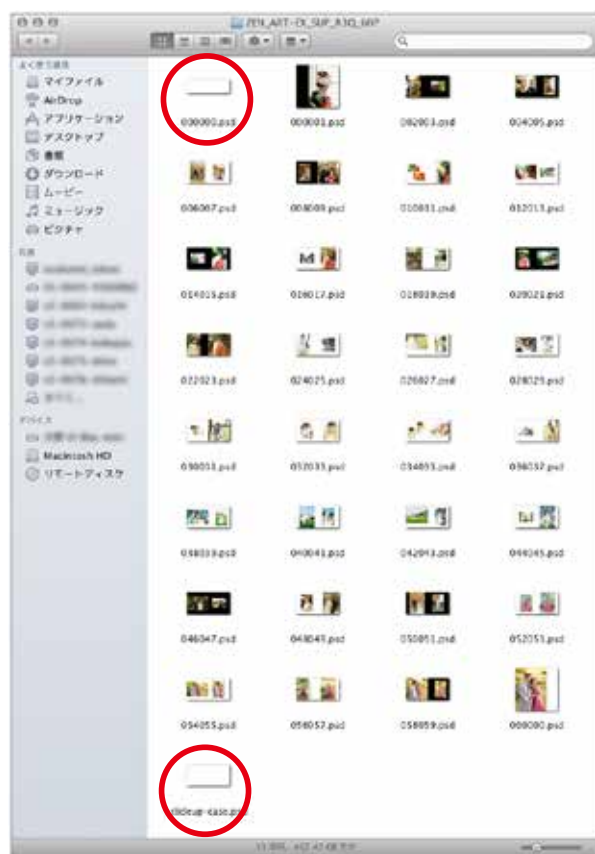
なお、Adobe Photoshop®が動作中はコンピュータの負担を減らすため、他の作業をできるだけしないでください。

本文ページの変換が終わると、右図の様なメッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、ブック変換の結果として変換先フォルダが表示されます。

- ここまでは本文ページの変換ですので、表紙ページ(ファイル名が000000.psd)、およびケースファイル(slideup-case.psd)のみが白紙の状態になっています。(右図赤丸印参照)

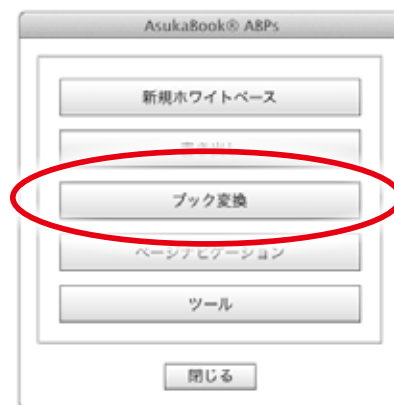


8-2-3. 表紙ページの変換

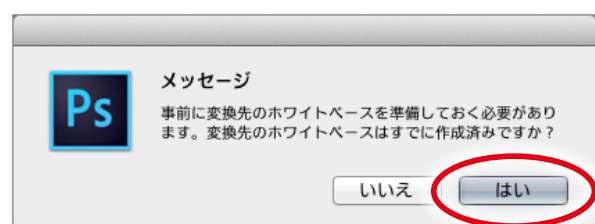
つぎに表紙ページ(およびケースファイル)の変換を行います。再度「ABPs」を起動して操作パレットを表示してください。

手順7 「ブック変換」をクリック

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ブック変換」ボタンをクリックします。



「ブック変換」ボタンをクリックすると、右図のメッセージが表示されます。すでに前の行程で本文ページの変換を行っており、変換先のホワイトベースは準備されていますので、ここでは「はい」をクリックしてください。

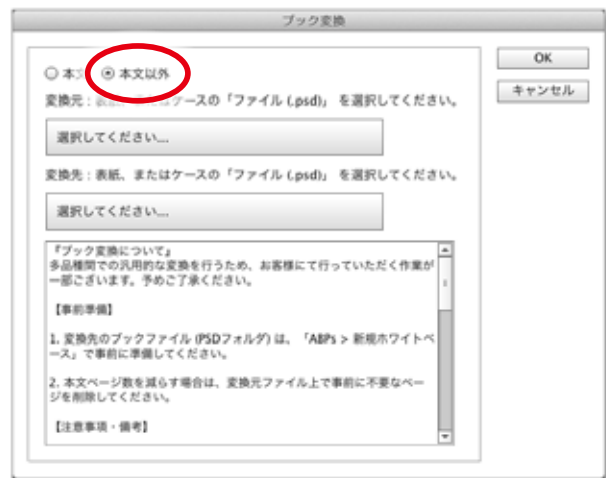




手順8 「本文以外」を選択

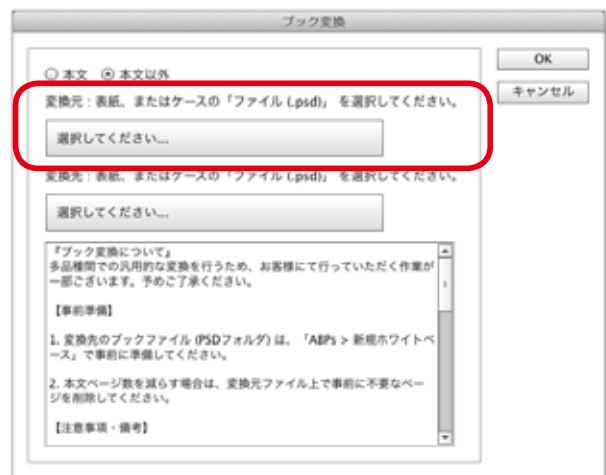
ブック変換ダイアログが表示されます。

本文ページの変換は前の行程ですで行いましたので、ここでは「本文以外」を選択してください(右図赤丸参照)。



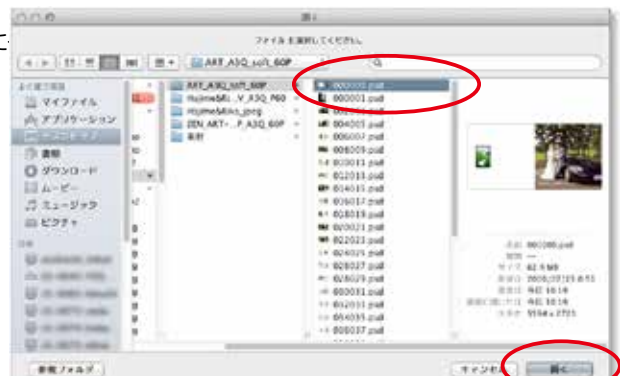
手順9 変換元ファイルの選択

変換元：表紙 またはケースの「ファイル(.psd)」を選択するため、右図の赤枠部分の選択ボタンをクリックします。



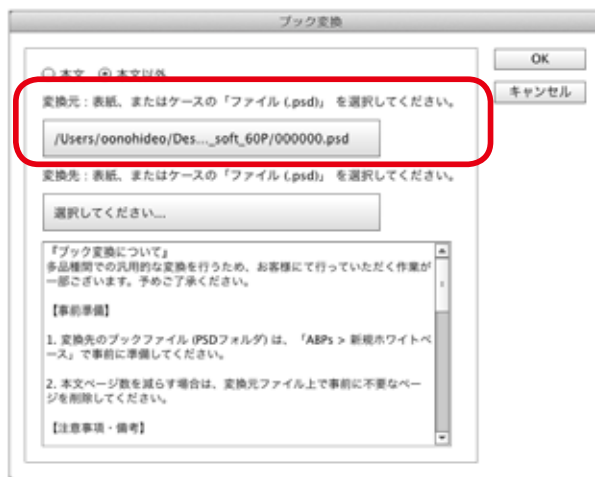
変換元ブックファイルが入っているフォルダを選択し、さらに選択して、「開く」ボタンをクリックします。

- この例では「表紙ファイル(000000.psd)」を選択しています。ケースファイルを変換する場合には、「slideup-case.psd」、もしくは「excase.psd」を選択してください。



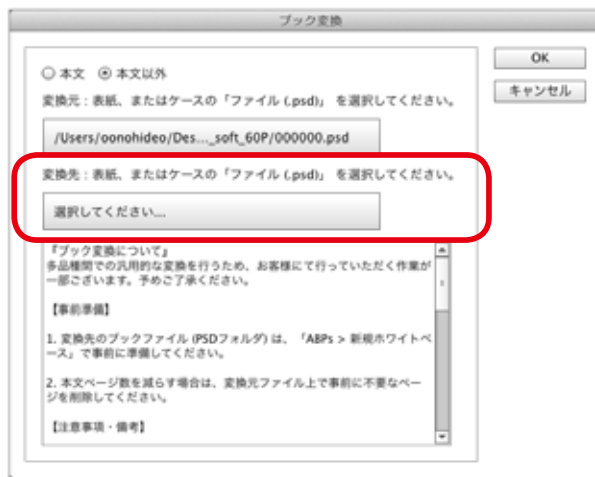
ブック変換ダイアログに戻ります。

変換元の選択ボタンに変換元の表紙ページファイルのパスが表示されます。

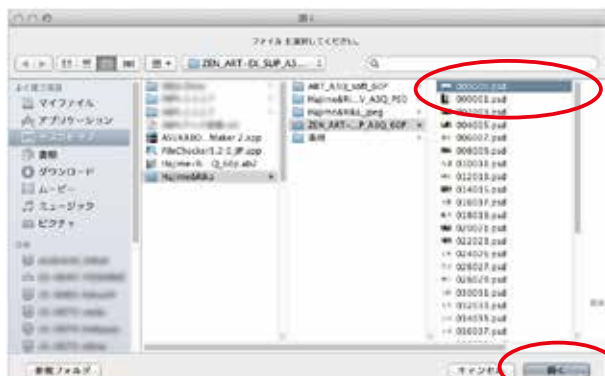


手順10 変換先ファイルの選択

変換先のホワイトベースが入っているフォルダを選択するため、右図の赤枠部分の選択ボタンをクリックします。

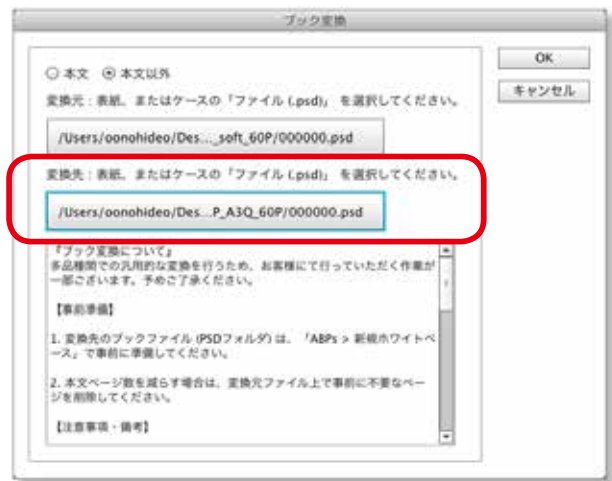


変換先の表紙ページファイル(ホワイトベース)が入っているフォルダを選択し、さらにそのフォルダの中の表紙ページファイル「000000.psd」を選択して、「開く」ボタンをクリックします。



ブック変換ダイアログに戻ります。

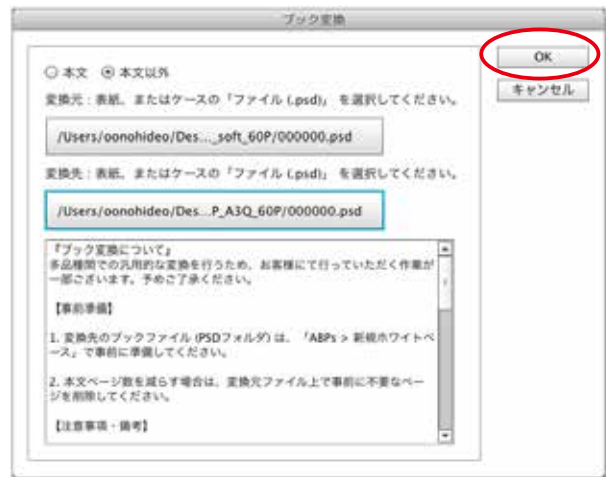
変換先の選択ボタンに変換先の表紙ページファイルのパスが表示されます。



手順11 変換の実行

変換元、変換先の表紙ページファイルの選択ができました。

「OK」ボタンをクリックするとブック変換が始まります。



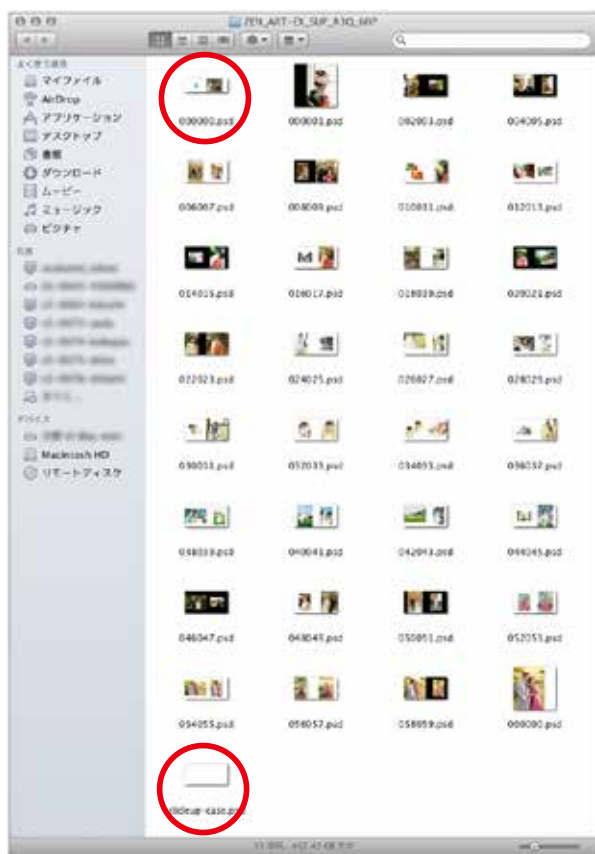
表紙ページの変換が終わると、右図のようなメッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、ブック変換の結果として変換先フォルダが表示されます。

●表紙ページ(ファイル名が000000.psd)の変換が終了したため、サムネイルが生成されたことが判ります。
(右図上方の赤丸印参照)

●この例ではケースファイル(slideup-case.psd)が未だ白紙の状態になっています。(右図下方の赤丸印参照)
ケースファイルについて「ブック変換」作業を繰り返すか、変換元にケースファイルが無い場合は手作業にてデザイン・レイアウトを行ってください。



8-3. ブック変換／ページ数を増やす場合

ページ数を変更する操作においても、「新規ホワイトベース」の操作にて予めページ数を増やした(もしくは減らした)変換先を作成しておき、「ブック変換」を使って本文ページと表紙ページ(およびケース)を独立して変換作業を行います。

◆例えば、「60ページ」から「80ページ」に変更する場合

変換元の開始ページから59ページまでは変換先にそのままコピーされ、最終ページ(60ページ目)は変換先の最終ページ(80ページ目)にコピーされます。変換先の60ページから79ページまでは白紙となります。

変換元 (60 ページ)



変換先 (80 ページ)

●ページ数を増やす場合の作業手順

- ① 変換先のブックファイルとして「80ページ」のホワイトベースを新規に作成する。
- ② 「ブック変換」機能を使って、変換元に編集集中のブックファイル「60ページ」を設定、変換先に①の「80ページ」を設定して変換。
- ③ 表紙ページも②と同様に変換。
- ④ 変換先(80ページ)の表紙ページのレイアウトを確認・調整する。
となります。

8-4. ブック変換／ページ数を減らす場合

ページ数を減らす場合は、まず変換先にページ数を減らしたホワイトベースを新規に作成しておき、「ブック変換」を使って本文ページと表紙ページ(およびケース)を独立して変換します。

- ◆例えば、「60ページ」から「50ページ」に変換する場合は、変換元の開始ページから49ページまでは変換先にそのままコピーされ、最終ページ(60ページ目)は変換先の最終ページ(50ページ目)にコピーされます。
変換元の50ページから59ページまではコピーされません。

変換元 (60 ページ)



変換先 (50 ページ)

●ページ数を減らす場合の作業手順

- ① 変換先のブックファイルとして「50ページ」のホワイトベースを新規に作成する。
- ② 「ブック変換」機能を使って、変換元に編集集中のブックファイル「60ページ」を設定、変換先に①の「50ページ」を設定して変換。
- ③ 表紙ページも②と同様に変換。
- ④ 変換先(50ページ)の表紙ページのレイアウトを確認・調整する。
となります。

9. ツール

「ABPs」はバージョン1.1からブック変換の方法を大幅に変更いたしました。これに伴い、以前に作成したASUKABOOK®を、現行のシリーズに変換できるようになりました。この変換を補助するためのツールを用意しました。

9-1. ブック情報を表示

「ABPs」で作成したブックファイル(ホワイトベースにレイアウトを施したもの)には、ASUKABOOK®の商品名、サイズなどの情報を各PSD形式ファイルに埋め込んでいます。この情報を「ブック情報」と呼びます。

「ブック情報を表示」ボタンは、「ブック情報」を確認するための機能です。

◆使い方

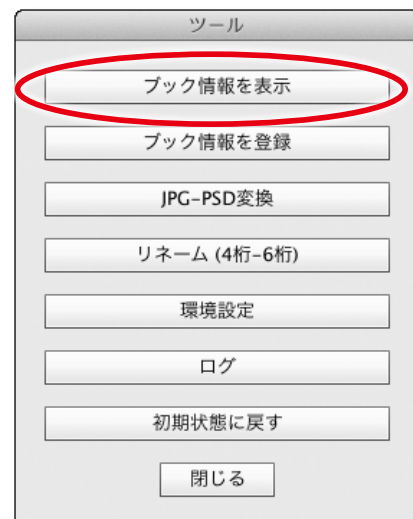
手順1 「ABPs」の起動

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ツール」ボタンをクリックします。



手順2 「ブック情報を表示」をクリック

「ツール」パネルが表示されますので、「ブック情報を表示」をクリックしてください。



手順3 フォルダを選択

ブック情報を確認したいブックのフォルダを選択し、「開く」をクリックしてください。



選択したブックの「ブック情報」が表示されます。



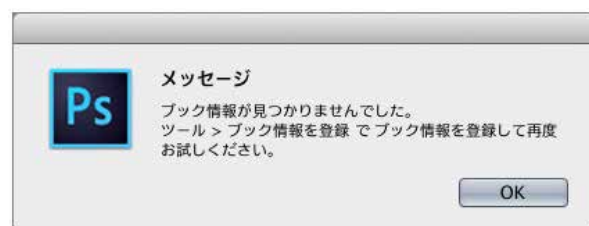
もしくは

◆ブック情報が登録されていない場合

選択したブックに「ブック情報」が存在しない場合には、右図のメッセージが表示されます。

- 「ABPs」のバージョン1.1以前のバージョンで制作したブックファイル、および「ABPs」を使用しないで作成したブックには、「ブック情報」が埋め込まれていない(登録されていない)ため、右図のメッセージが表示されます。

ここで「OK」をクリックすると「9-2. ブック情報を登録」9-3ページの「手順2」に進みますので、手順に従いブックファイルにブック情報を登録してください。



9-2. ブック情報を登録

「ABPs」のバージョン1.1以前のバージョンで制作したブックファイル、および「ABPs」を使用しないで作成したブックには、ABPs独自の「ブック情報」が埋め込まれていないため、「ABPs」バージョン1.1以降で使用する事ができません。このため、「ブック情報を登録」機能を使ってブックファイルにブック情報を登録してください。

◆使い方

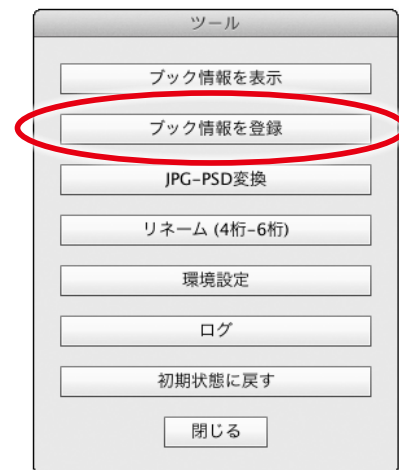
手順1 「ツール」をクリック

「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックしてください。



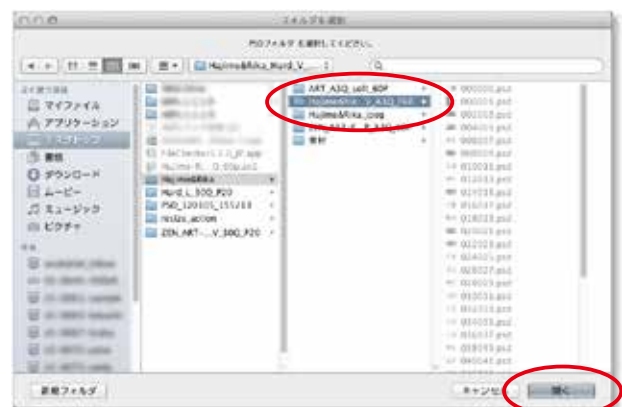
手順2 「ブック情報を登録」をクリック

「ツール」パネルが表示されますので、「ブック情報を登録」ボタンをクリックしてください。



手順3 フォルダを選択

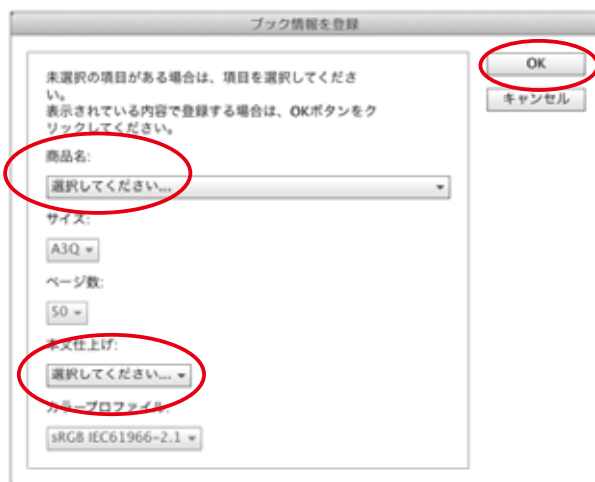
ブック情報を登録したいブックのフォルダを選択し、「開く」をクリックしてください。



手順4 ブック情報の判定

Adobe Photoshop®がいくつかのページを開き、サイズ、ページ数などからブック情報を判定し、結果を表示します。(右図参照)

判定が付かない項目は右図のように「選択してください…」と表示されますので、その項目をクリックして適切なものを選択してください。



「選択してください…」と表示された項目をクリックし、適切なものを選択してください。

その後、「OK」をクリックしてください。

- Adobe Photoshop®が全ページを開き、ブック情報を書き込み、ファイルを再保存します。

この間、ある程度の時間がかかります。この時間はブックサイズ、ページ数、お使いのコンピュータの能力により異なります。

なお、Adobe Photoshop®が動作中はコンピュータの負担を減らすため、他の作業をできるだけしないでください。



ブック情報の登録が完了すると、右図のメッセージが表示されます。

- ブック情報を登録することにより、ブック変換が行えるようになります。



9-3. JPG-PSD変換

「ABPs」で扱えるファイル形式は「PSD形式」のみになっています。このため、利用したいブックフォルダに「JPEG形式」のファイルが混ざっている場合は「PSD形式」ファイルに変換する必要があります。

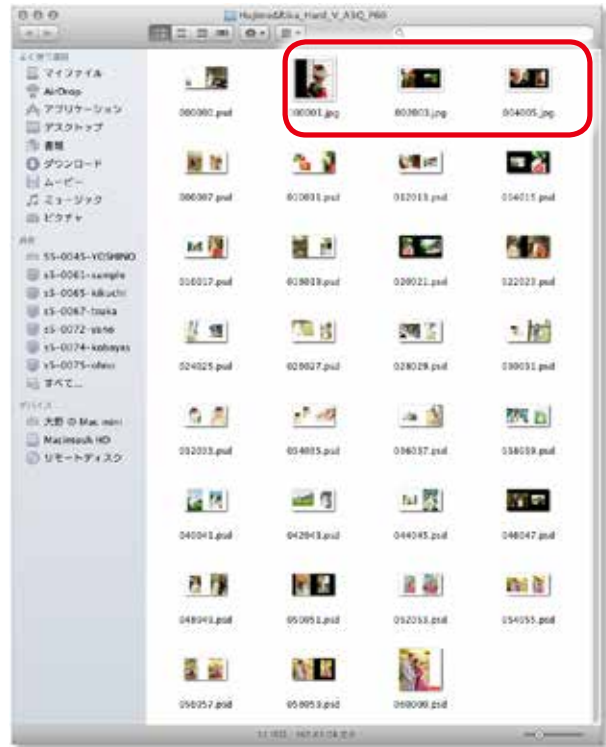
このような場合は、「JPG-PSD変換」機能を利用してください。

ご注意

PSD形式に変換しても、制作時のレイヤーが復元できるわけではありません。ファイル形式が変わるだけです。

◆例題

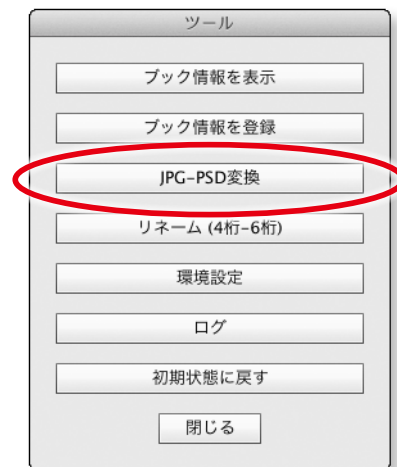
例えば、右図赤枠のように、利用したいブックフォルダの中に3つのJPEG形式のファイルが混在しているとします。



手順1 「JPG-PSD変換」をクリック

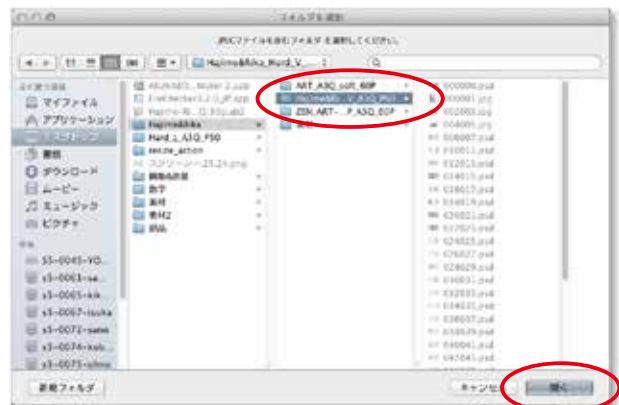
「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックして「ツール」パネルを表示します。

さらに「JPG-PSD変換」ボタンをクリックしてください。



手順2 フォルダを選択

JPEG形式のファイルが混在しているフォルダを選択し、「開く」をクリックしてください。





Adobe Photoshop®がJPEG形式のファイルのみを開き、PSD形式に変換した別フォルダに保存します。

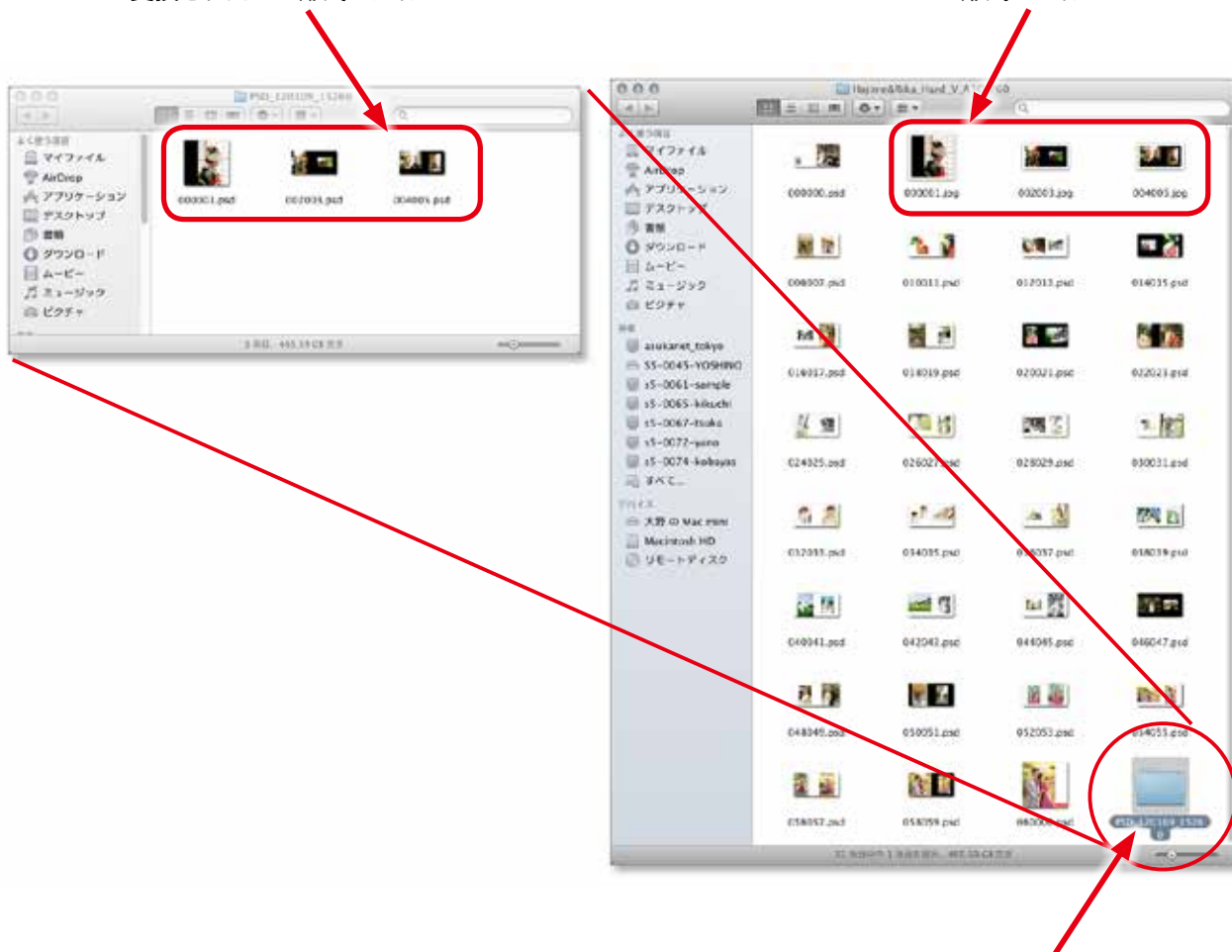


手順3 確認

PSD形式に変換されたファイルは、「手順2」にて選択したブックフォルダの中に「PSD・・・」という名称のフォルダに入っています。このPSDファイルをJPEGファイルと入れ替えてください。

変換されたPSD形式ファイル

JPEG形式ファイル

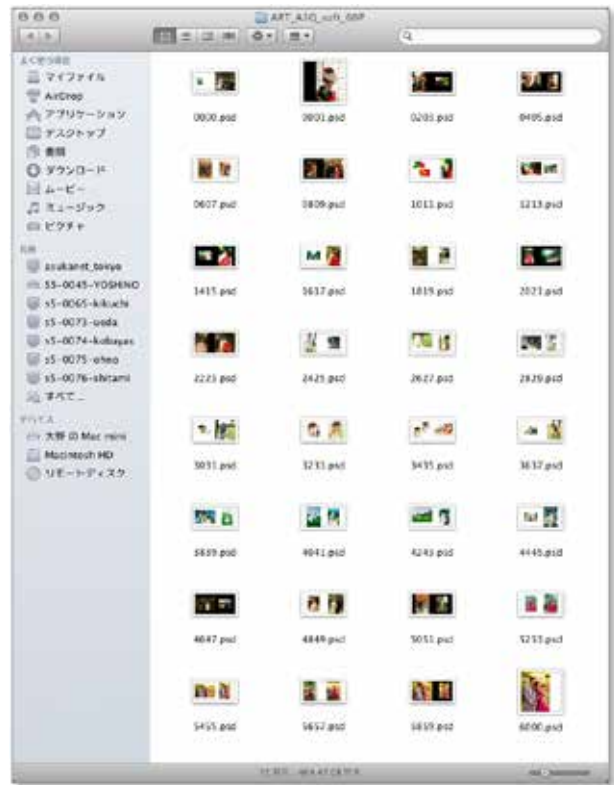


変換されたPSD形式ファイルが入っているフォルダ

9-4. リネーム(4桁-6桁)

アスカネットにおいて過去にご提供していたホワイトベースはファイル名が4桁でした。(右図参照)

ASUKABOOK®は2009年3月にファイル名を6桁に変更しました。現行の「ABPs」は6桁ファイル名にのみ対応しているため、4桁ファイル名のブックファイルを扱う場合はファイル名を6桁に変更する必要があります。これを自動的に行うのが「リネーム(4桁-6桁)」機能です。

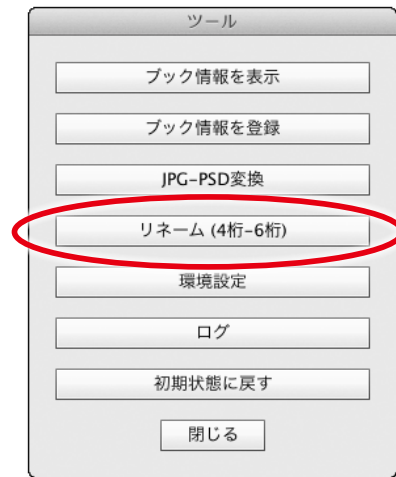


◆使い方

手順1 「リネーム (4桁-6桁)」をクリック

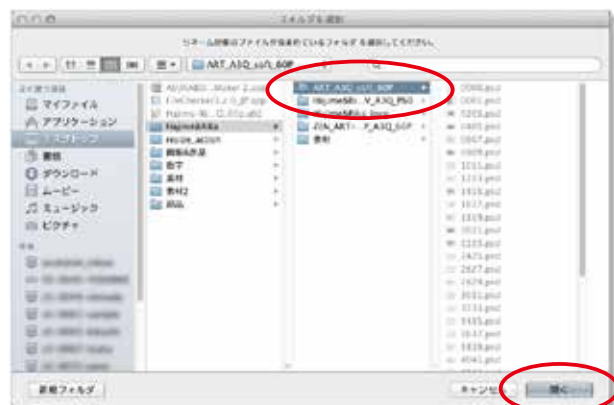
「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックして「ツール」パネルを表示します。

さらに「リネーム(4桁-6桁)」ボタンをクリックしてください。



手順2 フォルダを選択

6桁ファイル名に変換したいブックのフォルダ(中身は4桁のファイル)を選択し、「開く」をクリックしてください。

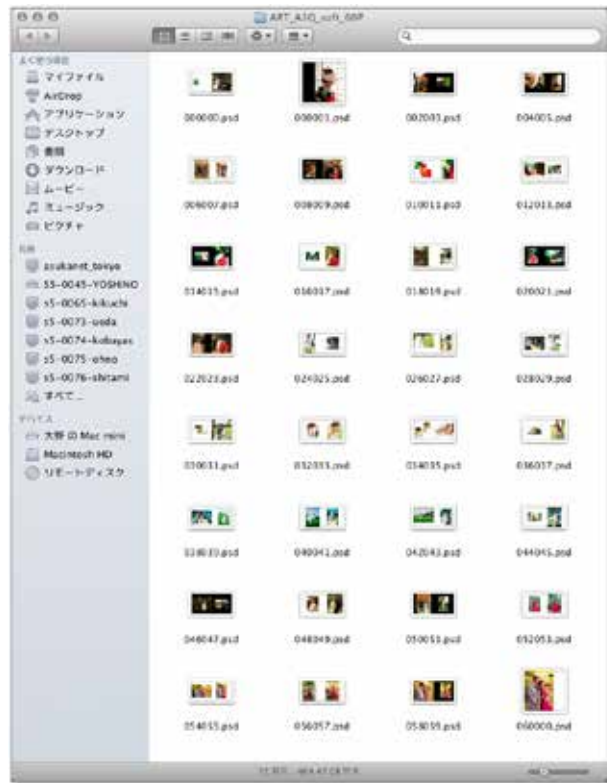




リネームが完了すると、右図のメッセージが表示されます。
「OK」をクリックしてください。



「OK」をクリックすると、ファイル名が6桁に変換されたフォルダが表示されます。
6桁に変更されたことを確認してください。



9-5. 環境設定

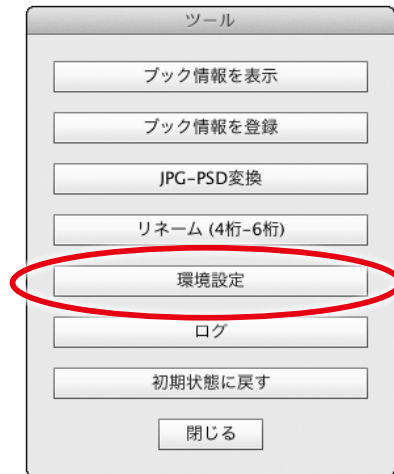
「ABPs」の動作状態を変更することができます。

◆使い方

手順1 「環境設定」をクリック

「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックして「ツール」パネルを表示します。

さらに「環境設定」ボタンをクリックしてください。



手順2 「解説を含める」にチェック

「環境設定」ダイアログが表示されます。

「新規ホワイトベース」ボタンでホワイトベースを制作した場合に、「削除レイヤー」に解説文を記載されるか否かを選択することができます。

- 初期状態では「解説を含める」（チェックが入った状態）に設定されています。



「削除レイヤー」に解説文が記載される例
(例は表紙ファイル)



「削除レイヤー」に解説文が記載されない例
(例は表紙ファイル)



9-6. ログ

「ABPs 1.2.2.4」から追加した機能です。「ABPs」では、「ABPs」の動作状態を常に記録しています。この記録を「ログ」と呼びます。これは「ABPs」の動作にエラーが起こった際にその情報を記録し、原因追及に役立つためです。

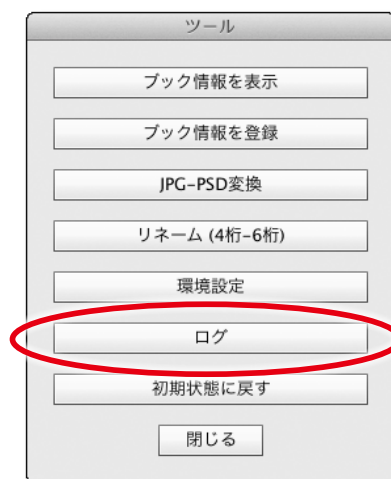
もし、「ABPs」の動作にエラーが発生し、しかもそれが再現される場合には、アスカネットのユーザーサポートにご連絡ください。ユーザーサポートから依頼があった際はこのログファイルをEメール添付などの方法にて弊社に送付してください。エラー発生原因の追及と復旧対策の参考にさせていただきます。

◆使い方

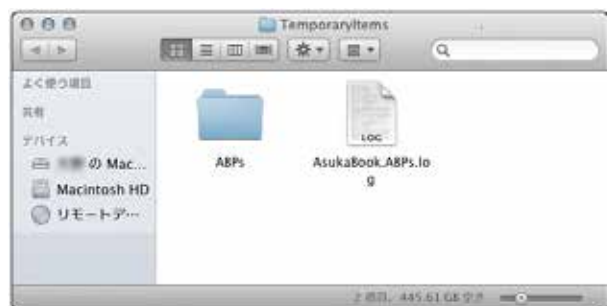
手順1 「ログ」をクリック

「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックして「ツール」パネルを表示します。

さらに「ログ」ボタンをクリックしてください。



「TemporaryItems」というフォルダが開きます。このフォルダの中にある「AsukaBook.ABPs.log」という名称のファイルがログファイルです。



手順2 「ABPs」の操作を行う。

「TemporaryItems」フォルダを開いたまま、もう一度「ABPs」の操作を行ってください。

この状態でエラーが発生しましたら、そこで「ABPs」の操作を打ち切り、「AsukaBook.ABPs.log」ファイルをユーザーサポートにお送りください。

フリーダイヤル ◆ 0120-520-410

受付時間 ◆ 10:00 ~ 18:00 月~金曜日 (祝祭日、夏期休暇、年末年始休暇を除きます)

お問い合わせE-mail ◆ info@asukabook.jp

9-7. 初期状態に戻す

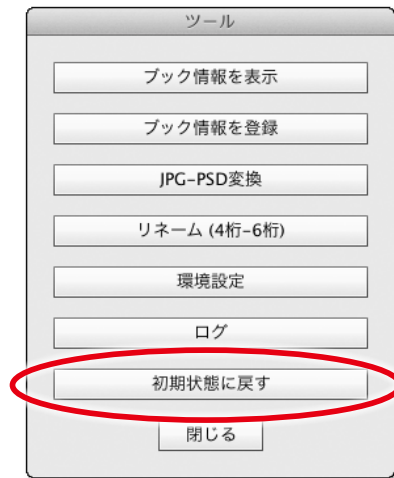
「ABPs」の状態を初期状態に戻すことができます。「ABPs」に不正な動作などがあった場合に、これを元に戻すものです。

◆使い方

手順1 「初期状態に戻す」をクリック

「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックして「ツール」パネルを表示します。

さらに「初期状態に戻す」ボタンをクリックしてください。



「ABPs」が初期化され、右図のメッセージが表示されます。



10. ページナビゲーション

「ABPs」バージョン1.2から「ページナビゲーション」の機能を設けました。これはAdobe Bridge®を利用して編集中のASUKABOOK®の表紙から最終ページまでをページサムネイルとして一覧できる機能です。

また、各ページを見開きページ単位で入れ替え、ページ番号(ファイル名)を振り直すことができます。

10-1. ページナビゲーションを表示させる

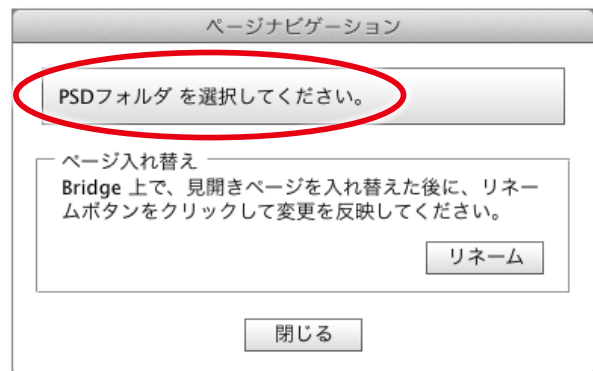
手順1 「ページナビゲーション」をクリック

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ページナビゲーション」ボタンをクリックします。

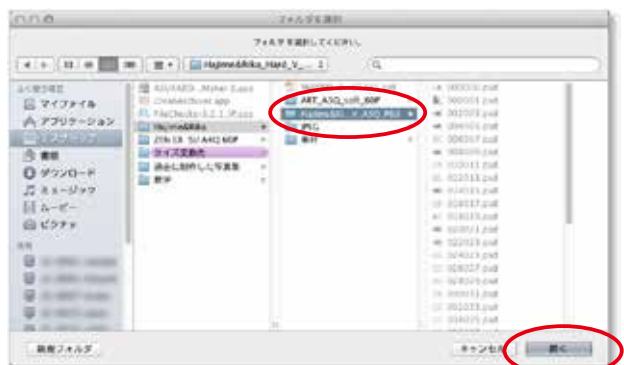


手順2 編集中のフォルダを選択

「ページナビゲーション」ダイアログが表示されます。「PSDフォルダを選択してください」と表記されているボタンをクリックしてください。



「フォルダを選択」ダイアログが表示されるので、編集中のホワイトベースが入っているフォルダを選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。





下記のように「ページナビゲーション」がAdobe Bridge®を使って表示されます。



- Adobe Bridge®は「サムネイル表示」モードで各ページを表示します。
- このサムネイルをダブルクリックすると、該当するファイルをAdobe Photoshop®で開くことができます。
- サムネイルの大きさは、Adobe Bridge®の右下方にあるサムネイルサイズ調整スライダーで変更することができます。
- Adobe Bridge®の詳しい使い方については、Adobe Bridge®のヘルプをご覧ください。



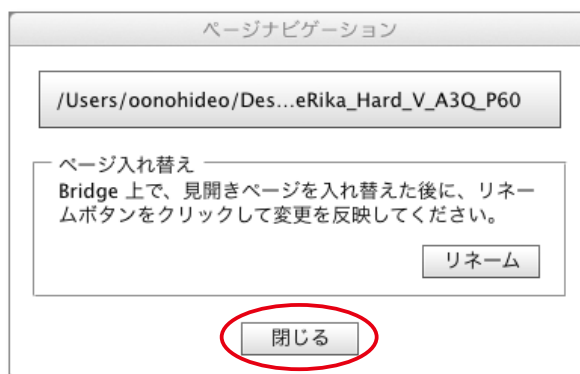
サムネイルサイズ調整スライダー



手順3 「ページナビゲーション」ダイアログを閉じる

「閉じる」ボタンをクリックして「ページナビゲーション」ダイアログを閉じてください。

- 「ページナビゲーション」ダイアログを閉じないとAdobe Photoshop®の他の機能を使用する事ができません。



10-2. ページの入れ替えによるファイル名の振り直し

「ページナビゲーション」を使って見開きページの入れ替え、およびページ番号(ファイル名)の振り直しが行えます。

ご注意

ページの入れ替えができるのは、「見開きページ」のみです。「表紙」、「開始ページ」「最終ページ」を入れ替えることはできません。

手順1 「ページナビゲーション」の起動

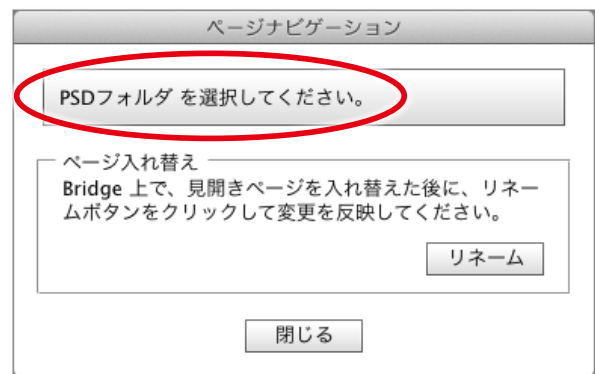
「ABPs」を起動し、操作パネルの「ページナビゲーション」ボタンをクリックします。



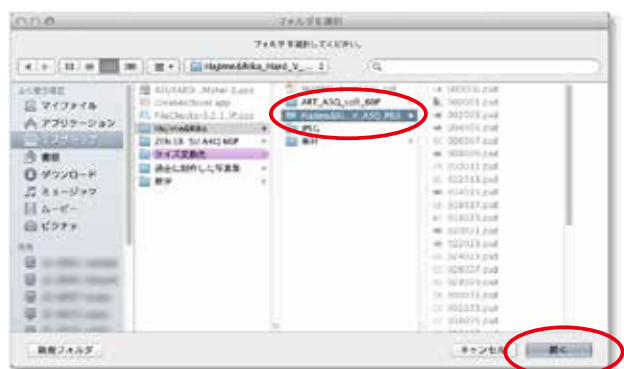
手順2 編集中的フォルダを選択

「ページナビゲーション」ダイアログが表示されます。「PSDフォルダを選択してください」と表記されているボタンをクリックし、編集中的のホワイトベースが入っているフォルダを選択します。

- 「ページナビゲーション」におけるフォルダ認識の操作はご面倒ですが毎回行ってください。

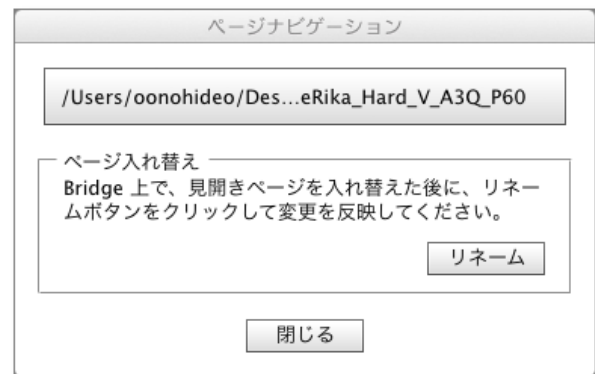


「フォルダを選択」ダイアログが表示されるので、編集中的のホワイトベースが入っているフォルダを選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。





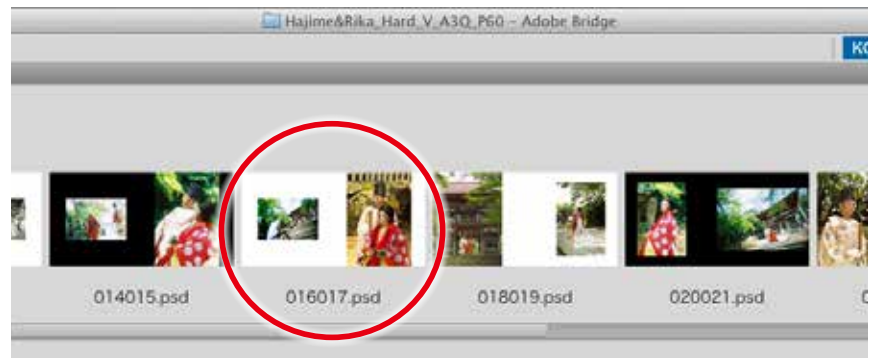
「ページナビゲーション」ダイアログに選択したフォルダのパスが表示されます。



手順3 ページの入れ替え作業

Adobe Bridge®に表示されている「ページナビゲーション」を使ってページの入れ替えを行います。

例として、見開きの「16-17ページ」と「18-19ページ」を入れ替えます。

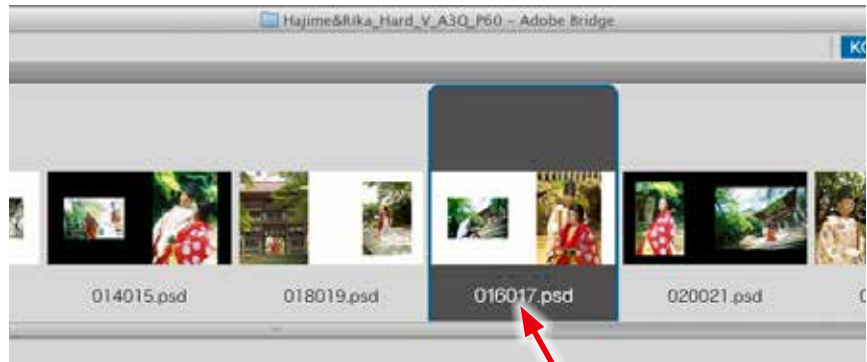


「016017.psd」をマウスで選択し、「018019.psd」と「020021.psd」の間に挿入します。



「016017.psd」が「018019.psd」の後ろに配置されます。

しかし、このままではページ番号（ファイル名）は以前のままです。そこで次の行程でファイル名の振り直しを行います。

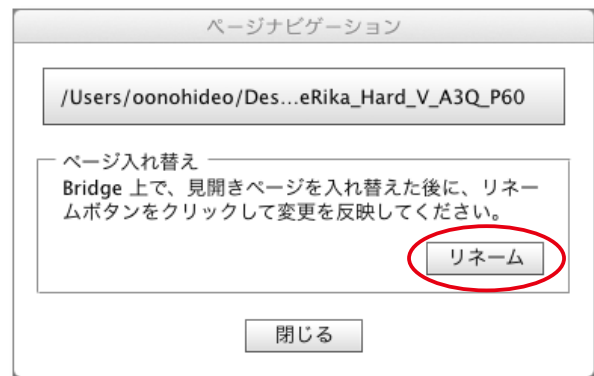


ファイル名はそのままになっているので振り直しを行う。

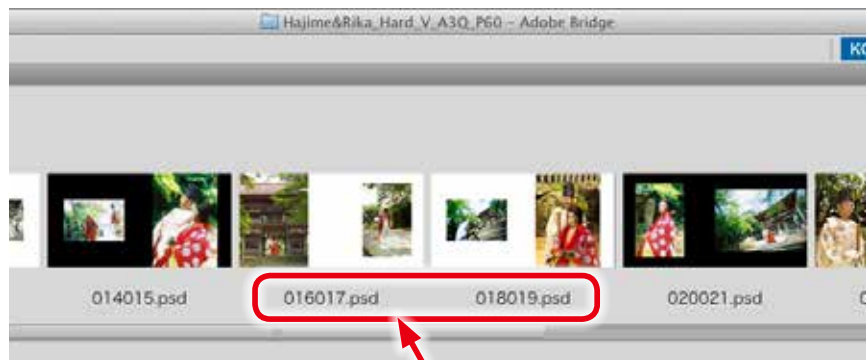


手順4 「リネーム」をクリック

この状態で「ページナビゲーションダイアログの」「リネーム」ボタンをクリックしてください。



ファイル名がアスカネットのページルールに従い、ページ順の通し番号に振り直しされます。



ファイル名がアスカネットのルールに従い、振り直される。

ご注意

- Adobe Bridge®では画像の配置を変更するだけではファイル名が変更されることはありません。
- ファイル名の振り直しを行わないで注文用PDFに書き出した場合、ページの入替えは反映されません。必ず上記の「10-2. ページの入替えによるファイル名の振り直し」10-3ページの手順に従い、ファイル名の振り直しを行ってください。

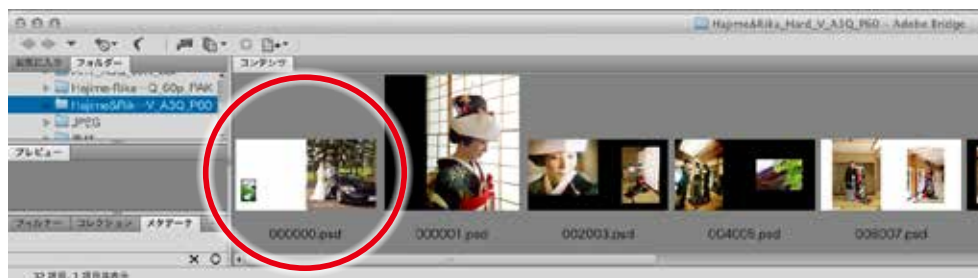
10-3. ページの入れ替えができない例

ページの入れ替えができるのは、「見開きページ」のみです。

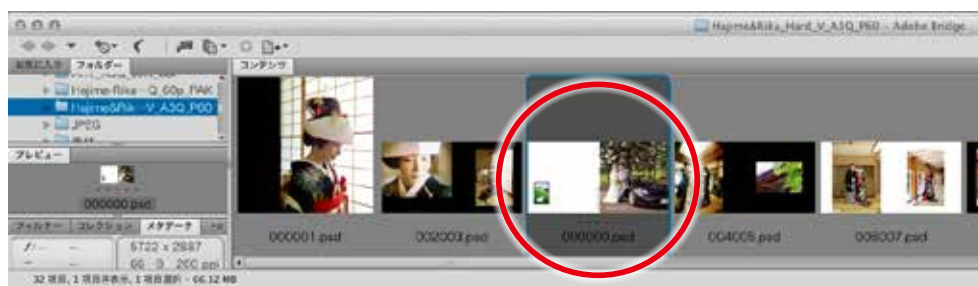
「表紙」、「開始ページ」「最終ページ」を入れ替えることはできません。Adobe Bridge®上ではファイルの並び順を入れ替えることはできますが、ファイル名は変更されないため、注文用PDFには反映されません。

ここでは、「表紙」、「開始ページ」「最終ページ」を入れ替えて「リネーム」を実行した場合の動作について解説します。

始めの状態



「表紙」を「002003」の後に移動した状態



「ページナビゲーション」の「リネーム」ボタンをクリックすると・・・

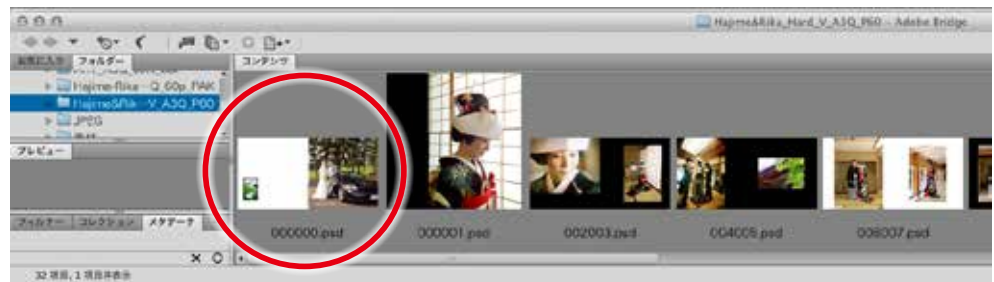


「見開き以外のファイルのリネームは無効です。」という警告が表示されます。



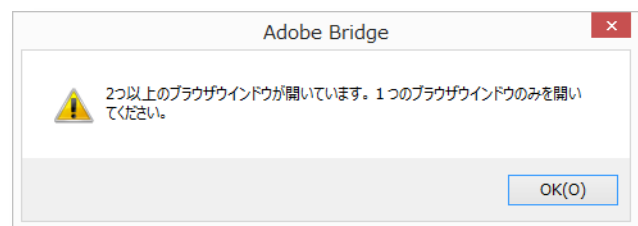


「OK」をクリックすると移動した「表紙」が所定の位置(表紙ですので最も左の位置)に戻ります。



10-4. Adobe Bridge®のエラーメッセージ

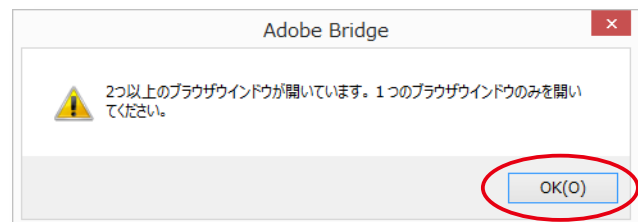
Adobe Bridge® から「2つ以上のブラウザウィンドウが開いています。1つのブラウザウィンドウのみを開いてください。」というメッセージが表示された場合は、Adobe Bridge®のウィンドウが2つ以上表示されていると意味合いです。



下記の手順に従って、Adobe Bridge® のウィンドウを閉じて作業してください。

手順1 メッセージを閉じる

「OK」ボタンをクリックしてメッセージを閉じます。



手順2 編集中のフォルダを選択

ページが表示されていない方のAdobe Bridge® のウィンドウを閉じてください。もしくは、今回ページ変更をしたいAdobe Bridge® のウィンドウ以外をすべて閉じてください。

対象のページが表示されているウィンドウ



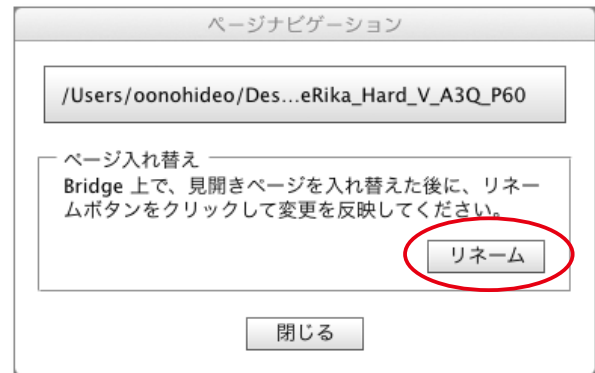
↓こちらのウィンドウを閉じてください





手順3 再度 ABPS の実行

再度、ABPsを実行し「ページナビゲーション」を選択して「リネーム」ボタンをクリックしてください。



11. ご注文について

書き出した「注文用JPEGファイル」は、弊社がご提供する「マイページ」からインターネット経由で「JPG入稿」からアップロードしてください。

もしくは、CD、DVDなどのメディアに保存後、宅配便にて発送してください。



◆「マイページ」について(2012年1月25日より開始)

「マイページ」とは、アスカブックサービスと契約があるお客様にご提供されるサービスです。「マイページ」にログインをしてご注文をして頂くと、お客様のご注文状況の確認、発送したブックのお問い合わせ番号と状況確認、増刷のご注文などがインターネットを通じて行えるようになります。

なお、「マイページ」は登録制になっております。ご契約後において「マイページ」のご登録がお済みでない方は、<https://asukabook.jp/app/customer/user/mypage/myPage> にアクセスして、ご登録をお願いします。

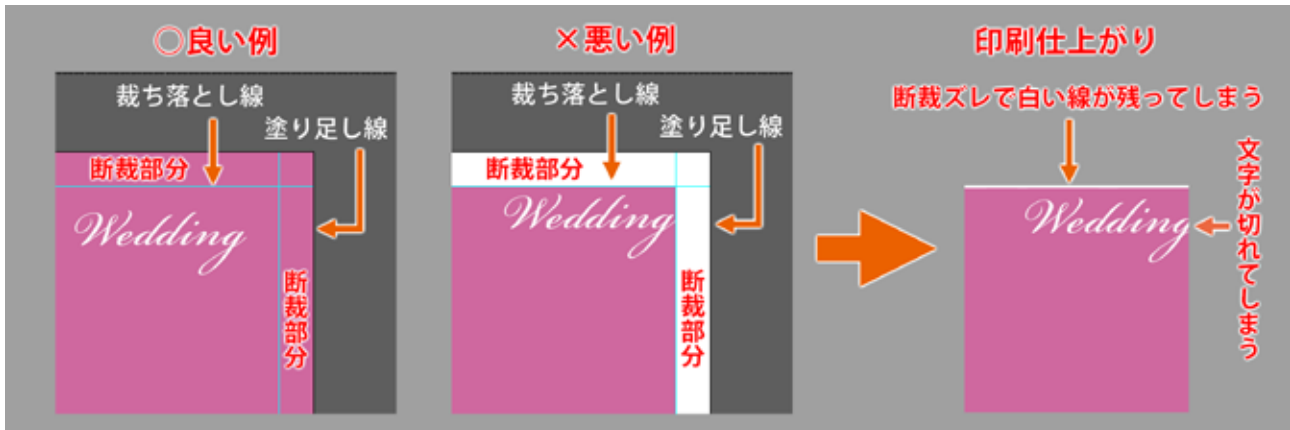
12. ご注文後の流れ・キャンセル・増刷

- ① 毎日23時59分59秒までに「マイページ」からの送信によりご注文頂いたものを、翌営業日から起算して6営業日(一部商品は3営業日)に出荷させていただきます。
- ② ご注文の日時は、アップロード完了後の30分前後で返信される「ご注文のお知らせ」のメールに記載されている「受付日」をご確認ください。
- ③ 出荷についてはASUKABOOK® ホームページより「出荷予定日表」にてご確認ください。
- ④ お客様自身によるキャンセル処理は、アップロード送信当日の23時59分まで可能です。
「マイページ」よりログインして頂き、発注済み画面よりご注文をキャンセルすることが可能です。
- ⑤ キャンセルが送信の翌日になってしまった場合は、AM9:00までにサポートセンターまでEメール(info@asukabook.jp)にてご連絡下さい。
この際、ユーザー ID、お客様名、キャンセルされるPDFファイルのファイル名 を必ずご連絡ください。
この時間を過ぎた場合には、別途キャンセル料金がかかりますのでご了承ください。
- ⑥ 受注確定の場合は、翌営業日に「確認書」がアスカネットよりFAXにて送信されます。
- ⑦ 3ヶ月以内の増刷発注は、「マイページ」の「増刷」よりご発注頂けます。

13. 編集上の注意

13-1. 塗り足しと裁ち落としについて

塗り足しとは、紙面の印刷可能領域よりも余分に写真や背景をデザインする部分をいいます。塗り足し部分は、裁ち落とし線を目安に断裁されますが、この線ぎりぎりにデザインしてしまうと断裁時のズレ等により、白い部分が残ってしまったり、文字が切れてしまう場合があります。デザインする際は、裁ち落とし線を越えて塗り足し線まで紙面いっぱいに画像を配置してください。



13-2. 塗り足し領域について

「ブック変換」機能によるブックサイズの変更は、変換元ファイルにおけるブックサイズとレイアウトの関係(画像の位置や比率など)を変換先においても損なわないように作られています。しかし、印刷や製本の関係上、どのブックサイズにおいてもホワイトベースには塗り足し領域を3mm(ブックや表紙・ケース等により異なります)確保しなければなりません。

このため、変換元ファイルを縮小した後に、変換先のホワイトベースの大きさに合わせて塗り足しも含めてキャンバスサイズを調整するため、背景に白色以外の色を付けている場合、変換先の塗り足し領域に白い部分ができることがあります。特に表紙はページ数により背幅が異なるため、変換誤差が大きくなる場合がありますのでご注意ください。これらのことにより写真やイラストの位置もずれる場合があります。

変換先のファイルは、ご発注の前にこの白い部分が塗り足し領域より内側(本文内部)に入っていないこと、写真やイラストがずれていないことを必ず確認してください。位置がずれている場合は修正し、塗り足し部に白い部分がある場合は、写真を広げたり、背景と同色で塗りつぶしてください。



変換元のブックサイズ 例は A3Q



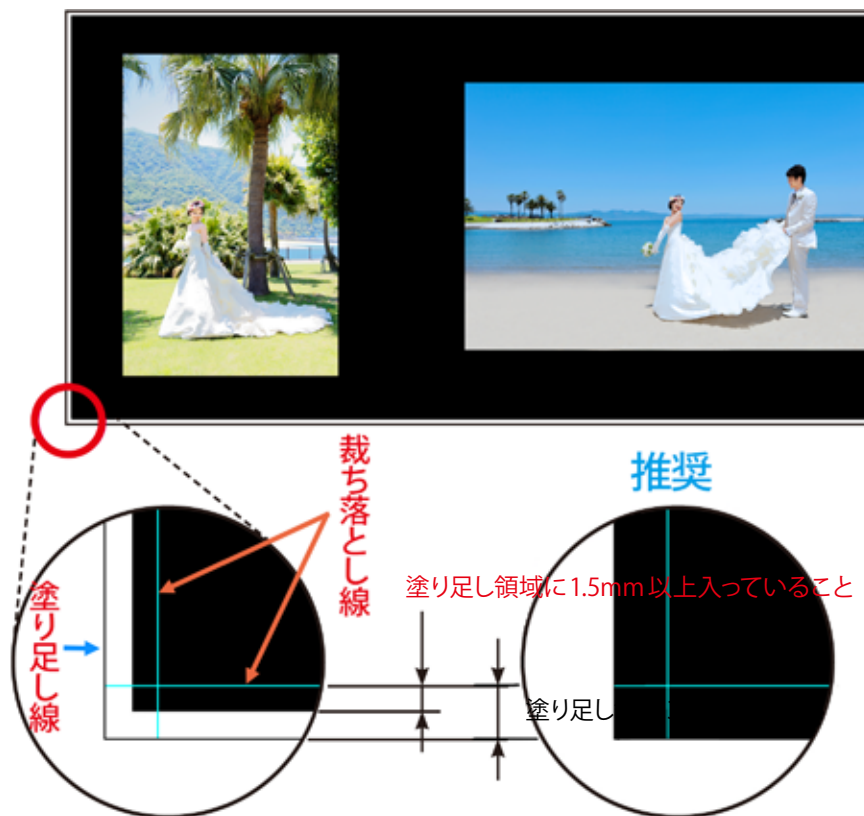
ご注意

塗り足し領域は、幅が通常3mm(ブックや表紙・ケース等により異なります)です。写真集の仕上がりは、裁ち落とし線で裁断された大きさになりますが、断裁時に誤算精度が±1mm程度発生してしまいます。

このため、写真をページ全体に敷く場合や、背景に色を付ける場合は、塗り足し領域に写真や色が**少なくとも1.5mm以上入る**ようにレイアウトを行ってください。

※塗り足し線いっぱいまで写真を配置、もしくは、背景を同色で塗ることを推奨いたします。写真やイラストの位置なども必ず確認してください。

変換後のブックサイズ 例はCD



13-3. サイズ変換による表紙のデザイン確認について

本はその構造上、ブックサイズが異なっても紙の厚みは同じですので、ページ数が同じなら背表紙は同じ厚みになります。ところが表紙用のホワイトベースは表紙、裏表紙、背表紙が一体となっていますので、サイズ変換を実行すると背表紙の寸法まで変更されてしまいます(背幅が狭くなってしまいます)。

サイズ変換後は、表紙ファイルを開いてレイアウトを確認し、背表紙のレイアウトを修正してください。また、「ART EXD」、「ART EX」、「ハードカバー」(レイフラット仕様を含む)、「ZENレイフラット」の場合は、表紙そのものに3mm程度の厚みがあるため、塗り足し領域に白が入っていると表紙の厚み部分で写真から白に切り替わる様なデザインになることがあり、写真集の体裁が悪く、雰囲気損ないます。

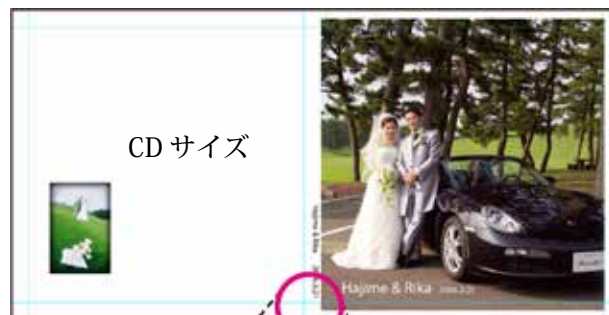
ご発注の前に変換された表紙を開いてレイアウトを確認し、必要に応じて修正して頂くようお願い致します。

修正の基本的な要点は、

- ①表紙のレイアウトを右側に移動する。
- ②裏表紙のレイアウトは左側へ移動する。
- ③塗り足し領域にリサイズされたことにより白い部分が発生した場合には、写真を多少拡大するか、白い部分を黒などで塗りつぶす。

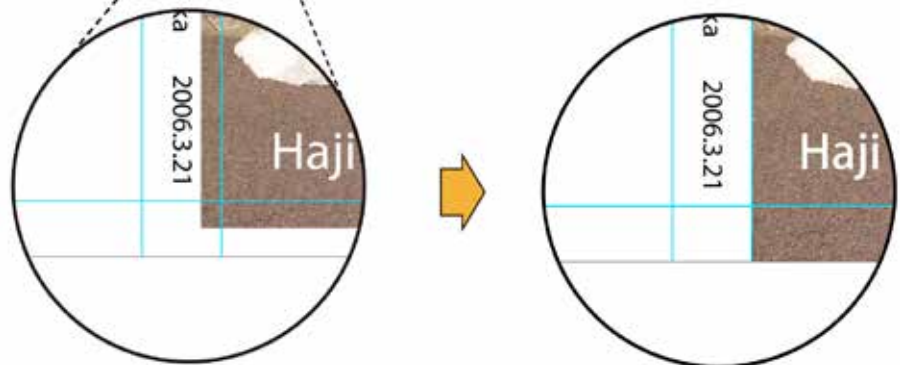


「A3Q」から「CD」にサイズ変換をした例

**修正例**

この例では、表紙の写真を右側へ移動し、塗り足し領域に生じた白い部分を黒色に塗っています。

サイズ変換では背表紙のレイアウトも一緒に縮小してしまうため、背表紙付近のレイアウトに狂いが生じます。背表紙に引かれたガイドラインに従ってレイアウトを修正してください。



13-4. 最新情報はホームページで確認

写真集のデザインを綺麗に仕上げるために、ASUKABOOKの製本構造を配慮して頂く必要があります。最新情報を弊社のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

ホーム／作り方／データ作成ガイド

<https://asukabook.jp/edit/technique.html>

14. お問い合わせ

サポートに関するお問い合わせは、フリーダイヤル、Eメールにて受付致しております。
下記よりお気軽にお問い合わせください。

■ ASUKABOOK® に関するお問い合わせ電話番号

0120-520-410（フリーダイヤル）

電話の受付時間：10:00 - 18:00 月曜日～金曜日

（祝祭日・夏季休暇・年末年始は除きます）

■ ASUKABOOK® に関するお問い合わせメールアドレス

info@asukabook.jp

メールの受付時間：随時、お受けしておりますので、お気軽にご連絡ください。

また、弊社よりご連絡を差し上げるまでに、多少お時間を頂戴することがございます。

※ 当社はプライバシーポリシーに基づき、個人情報を管理しております。

上記よりお伝えいただいた情報は、お問い合わせの回答のみに利用し、他の利用は行いません。

〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-3 M-SQUARE 5階

株式会社アスカネット フォトパブリッシング事業部

フリーダイヤル ◆ 0120-520-410

（土・日・祝祭日、夏期休暇、年末年始休暇を除きます）

ホームページ ◆ <https://asukabook.jp> E-mail ◆ info@asukabook.jp



索引

数字はページ数を表します。

索引

数字

3D機能に関する警告について...5-2

アルファベット

A

ABIdの概要...2

「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを「Scripts」フォルダにコピーする...3-2

「ABPs_1.2.x.xx」フォルダをスクリプトフォルダにコピーする方法(MacOSの場合)...3-2

「ABPs」スクリプトのメニュー表示...3-3

「ABPs」スクリプトを都度、読み込んで起動する方法(MacOSの場合)...3-4

ABPs_JPG...7-2

ABPs情報のアップデート...5-1

ABPsの特徴...1-1

Adobe Bridge®のエラーメッセージ...10-7

F

File Checker について...3

J

JPEG出力先の選択...7-2

JPEGの書き出し...7-3

P

Photoshopのスクリプトフォルダを開く...3-2

PSDフォルダを選択...7-1

S

「Scripts」フォルダを開く...4-8

「Scripts」フォルダを開く...3-7

かな

あ

扱えるファイル...8-5

アドビスクリプト...2-1

アンインストール...3-6, 4-7

い

インストール...3-1

インストール MacOSの場合...3-1

インストール Windowsの場合...4-1

お

お問い合わせ...14-1

か

解像度単位の変更方法...6-2

概要...2-1

書き出し...7-1

JPEG出力先の選択...7-2

PSDフォルダを選択...7-1

「書き出し」をクリック...7-1

書き出し(注文用JPEGの作成)...7-1

カラープロファイル...6-3, 8-7

解説 カラープロファイルについて...6-5

き

起動...5-1

キャンセル...11-3

こ

ご注文後の流れ...11-3

ご注文について...11-1

さ

最新情報...13-2

削除レイヤー...6-4, 9-9

し

Zip...3-1

初期状態に戻す...3-6, 4-7

そ

増刷...11-3

た

ダウンロードしたファイルの解凍...3-1, 4-1

ち

小さな文字...2-1

注文用PDF

注文用PDFの作成...7-1

つ

ツール...9-1

JPG-PSD変換...9-5

環境設定...9-9

初期状態に戻す...9-10, 9-11

ブック情報

ブック情報が登録されていない場合...9-2

ブック情報を登録...9-3

ブック情報を表示...9-1

リネーム(4桁-6桁)...9-7

と

動作環境...2

ぬ

塗り足し領域について...13-1

ひ

表紙のデザイン確認について...13-2

ふ

File Checker...3

ブック仕様の選択...6-3

ブック変換...8-5

基本操作...8-8

事前の準備...8-5

注意事項...8-5

表紙ページの変換...8-12

ブック変換処理の方法...8-6

ブック変換の制限事項...8-6

ブック変換のルール...8-5

ブック変換の例外...8-7

ページ数を増やす場合...8-16

ページ数を減らす場合...8-17

変換ができない組み合わせ...8-7

変換先のブックファイルの用意...8-5

変換先のホワイトベースの準備...8-8

変換先ファイルの選択...8-14

変換先フォルダの選択...8-10

変換元ファイルの選択...8-13

変換元フォルダの選択...8-9

本文ページの変換...8-9

レイアウト確認...8-6

へ

ページナビゲーション...10-1

ページの入れ替えができない例...10-6, 10-7

ページの入れ替えによるファイル名の振り直し...10-3

編集上の注意...13-1

ほ

細かいライン...2-1

ホワイトベース...6-1

ホワイトベースの作成...6-1

ホワイトベースの仕様...6-4

ま

マイページ...11-1

ろ

ログ...9-10